

# 吉野杉のかたち

## コンセプト

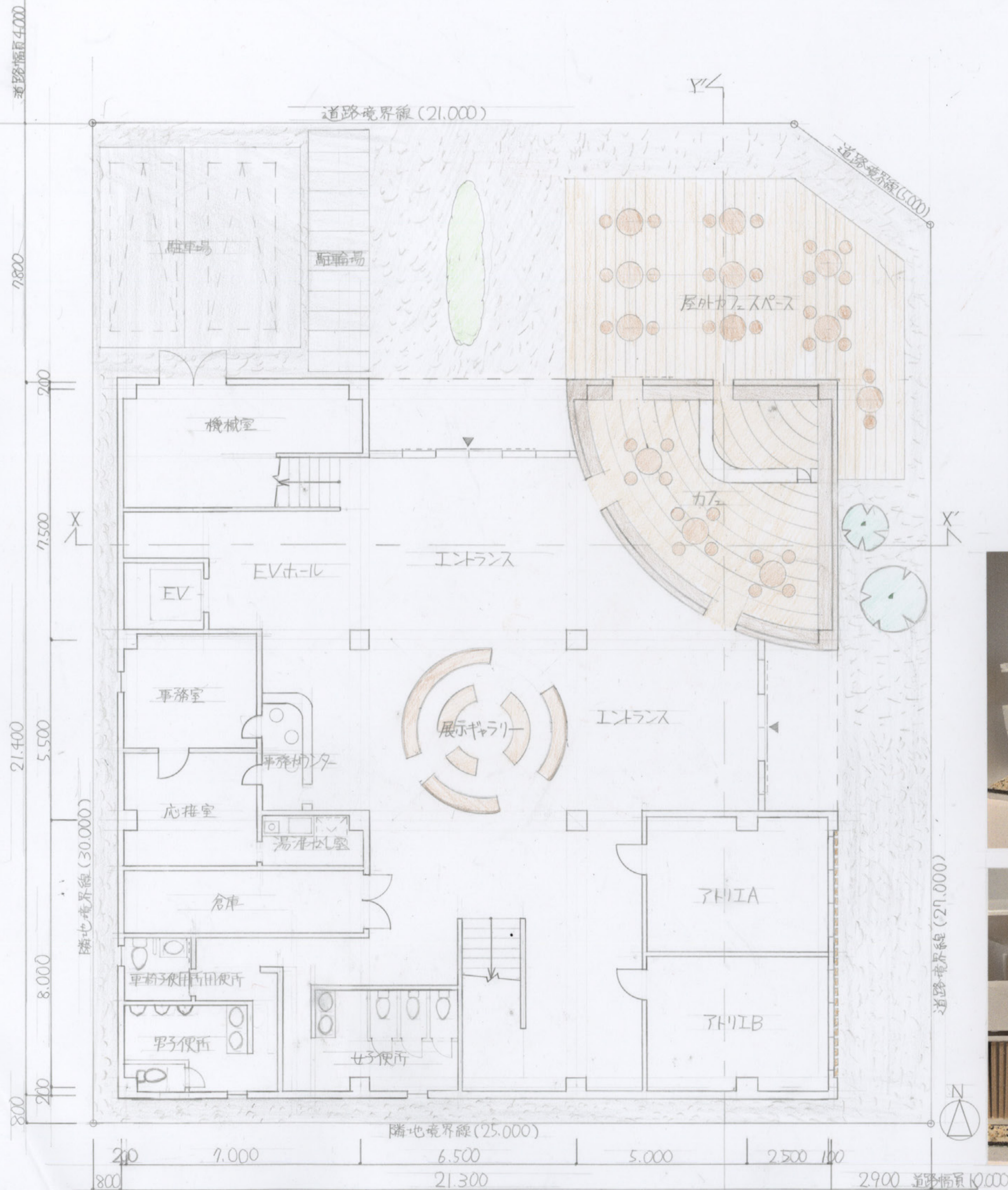
奈良の特産品である吉野杉を使い、木造の佇まいを演出する空間にしたい。施設内に木の要素を散りばめて、自然のまにまに思える設計とした。カフェと多目的ホールの壁は、吉野杉の幹の部分を使い、樹皮の質感がデザインし、吉野杉の特徴である節菌、節木、防虫効果や吉野杉にある独特の香りには、鎮痛作用やリラックス効果がある。全ての部屋で吉野杉を使い、カフェと多目的ホールの外壁には、街行きの印象を残すように木目材のデザインとし、2階の出入り可能な屋上部分には、杉の長い幹の断面を柱として、街行きの目玉として、一目見た目に木目と重点を置いた建物デザインを目指した。また、周囲の土地から見える五重塔を現来主観客客への施設の魅力を伝える利用を促すため、北東側に目玉として屋上カフェスペースとして五重塔が見えるようにする。木目材の色合いから選定し、反らさぬようにした。

## 面積表

敷地面積	794.00㎡
建築面積	466.56㎡
1F	443.02㎡
2F	379.46㎡
延床面積	822.48㎡

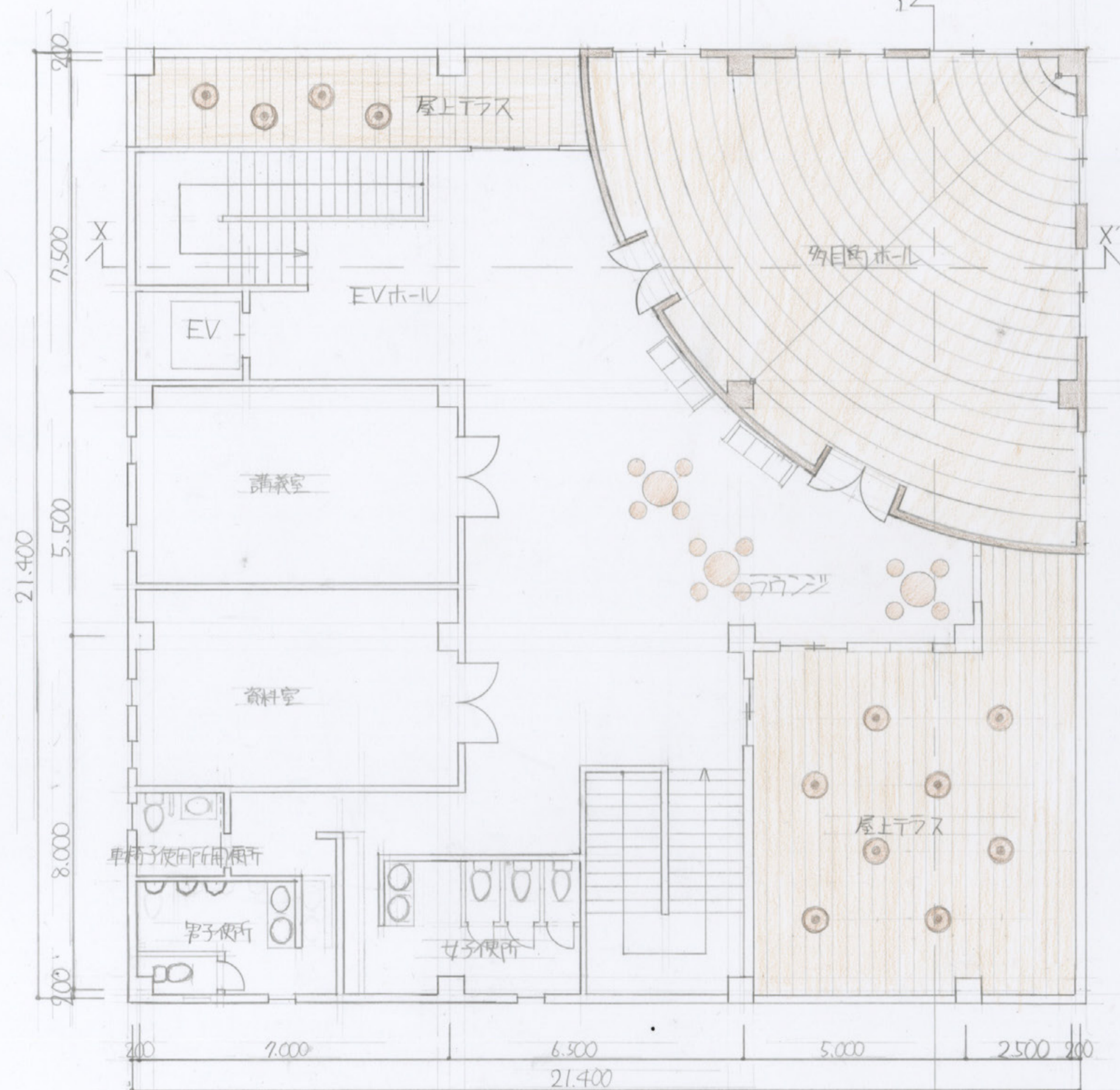
## 仕上がり表

外部仕上がり	屋根	防水シート/塩化ビニル樹脂		
	外壁	モルタル仕上り吉野杉木材		
	開口部	吉野杉		
内部仕上がり		床	壁	天井
	エントランス	吉野杉材	吉野杉	吉野杉
	多目的ホール	吉野杉材	吉野杉材	吉野杉
	カフェ	吉野杉材	吉野杉材	吉野杉
	アトリウム	吉野杉材	吉野杉	吉野杉

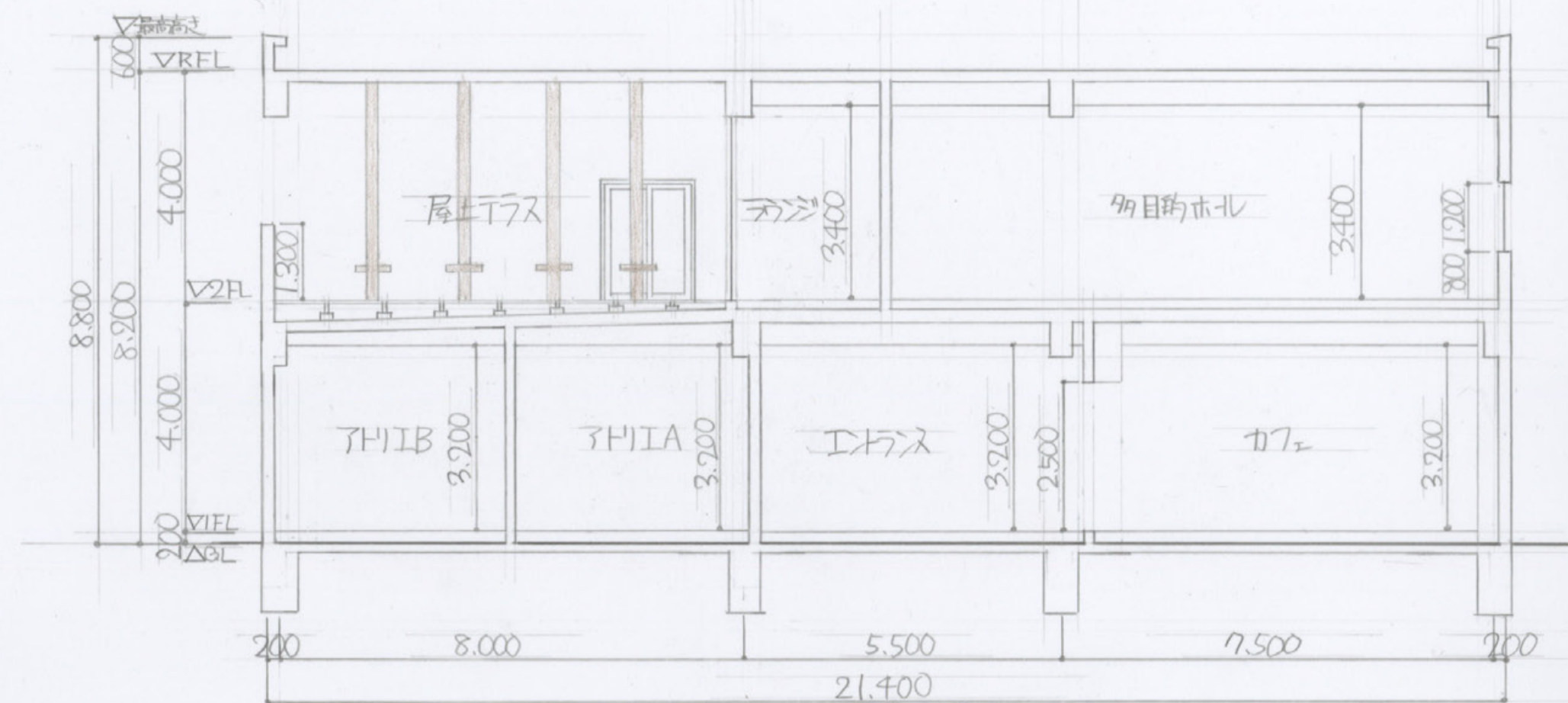


1階平面図兼配置図 (S=1/100)

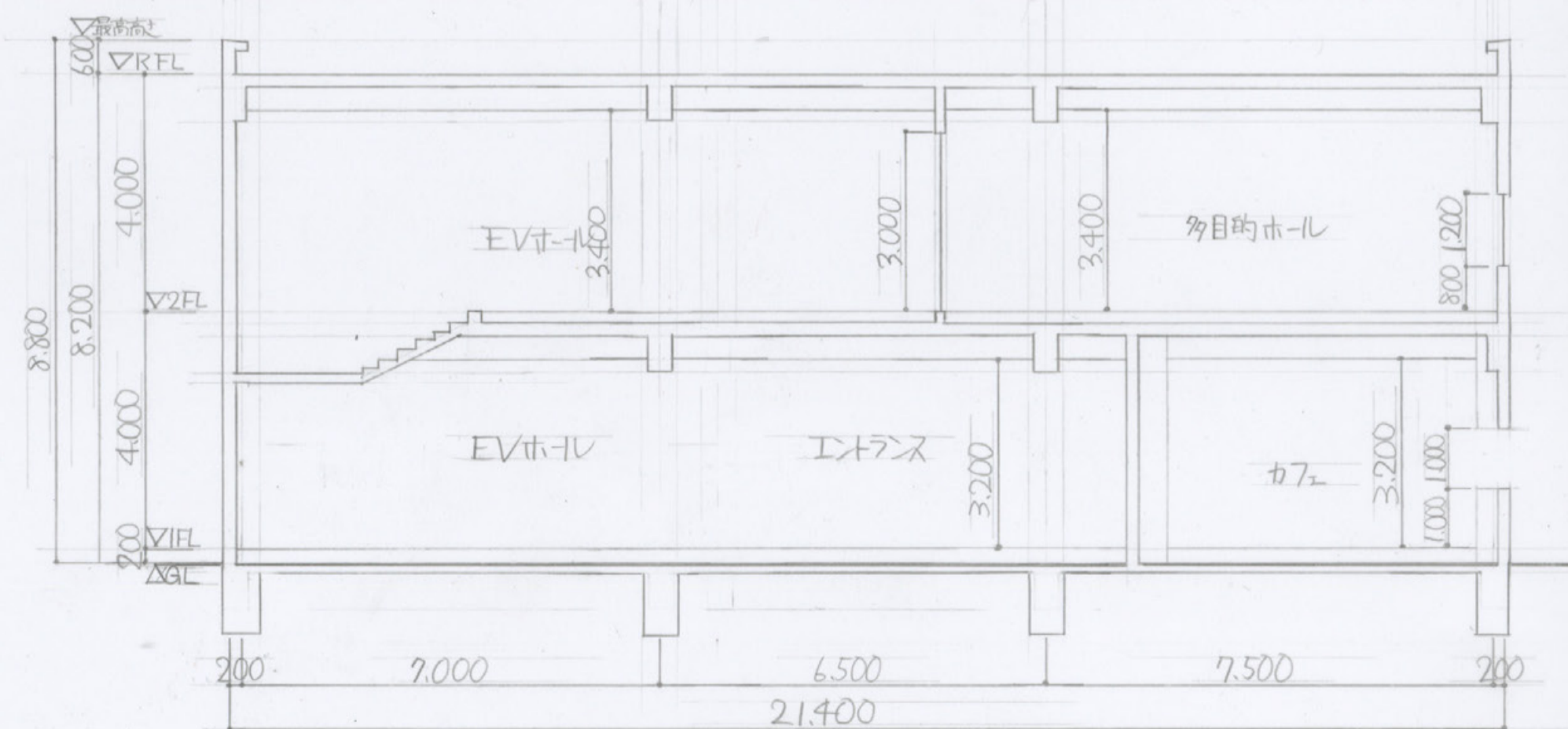




2階平面図 (S=1/100)



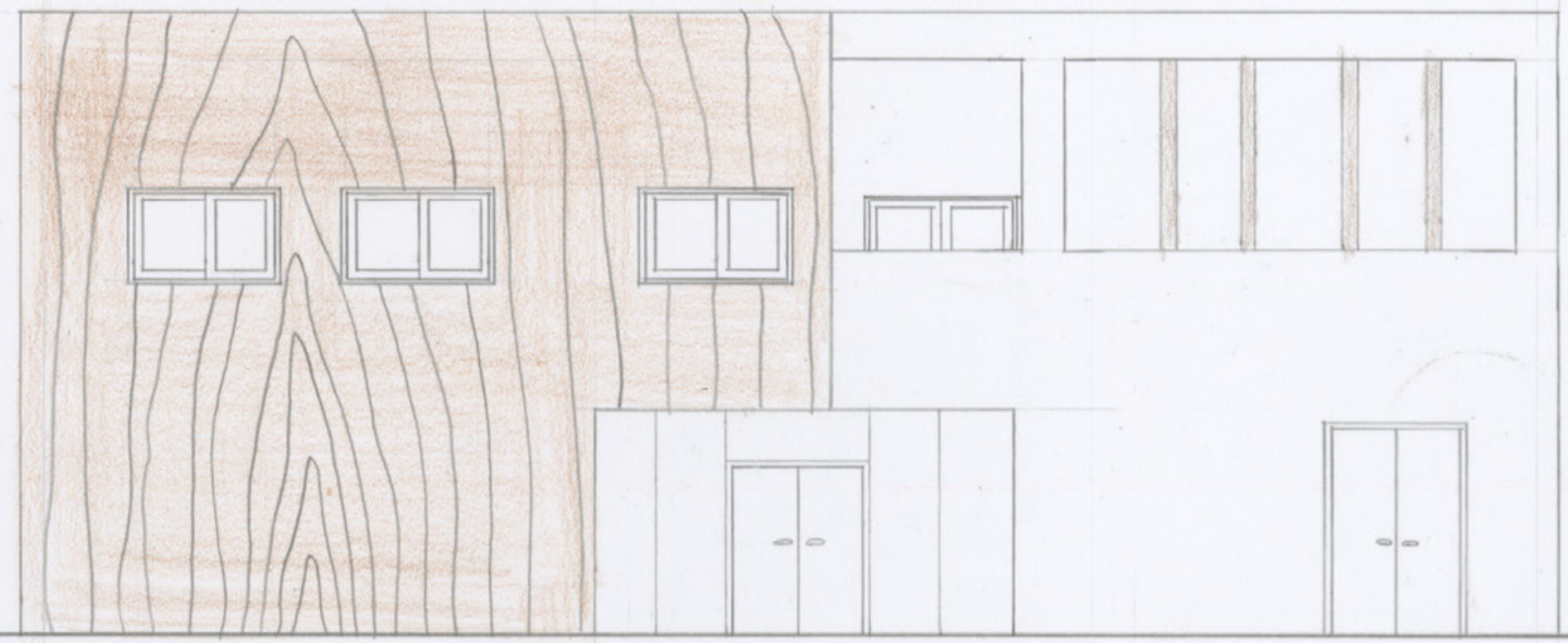
Y-Y'断面図 (S=1/100)



X-X'断面図 (S=1/100)



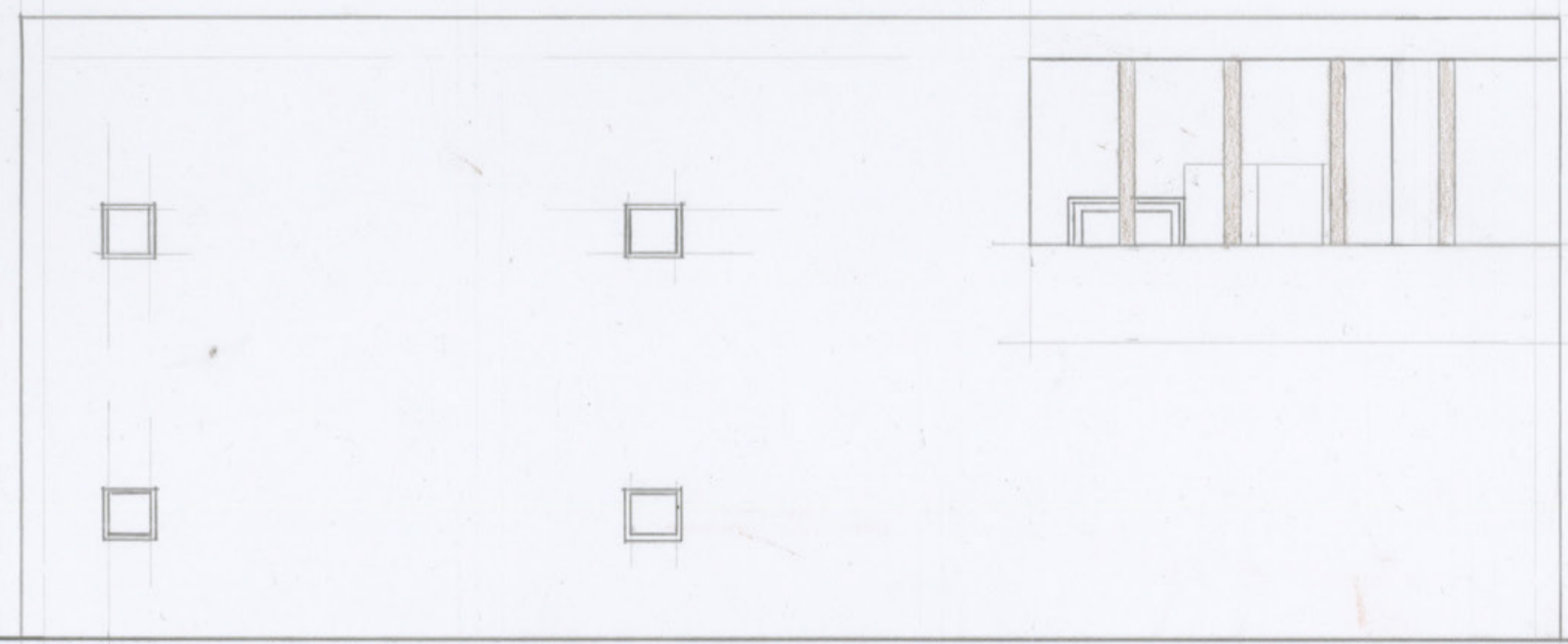
東立面图(S=1/100)



北立面图(S=1/100)



西立面图(S=1/100)



南立面图(S=1/100)

# 奈良の木と光の空間



**コンセプト**

奈良の特産である木をコンセプトにした施設を設計した。  
 箸作りなどの木工体験を行う、体験後も奈良の木に触れて生活できるようになっている。  
 文化遺産が多くの奈良で、観光客があまり目を向けていない木の魅力をもと日本を始め、世界の人の目に知らせてもらうこと。国産材の使用率の増加に繋がると考えた。魅力を伝える工夫としては、奈良の木の大きな特徴である節が少なく木目が直線である美しい所を、私たちが相性のよいものとして考えている光を当てること。より美しく見せる。上階のトップライトだけでなく、外壁と内壁のほらんとを、前面がガラス張りにしており、側面からも光が入ってくる。節がよくある「70-71」にあるのではなく、小さい丸型のガラスをまばらにはめこんでおり、建物が一周できるように連続的に並んでいる。

さらに、全面がガラス張りに加えて、奈良の伝統物である奈良櫛子の「サ」を取り入れている。上記で述べた特徴以外にも、奈良の木には細いヒノキの特徴を持っており、建物の中から外構にその細長さを表現している。また、構造の柱の他に、一階から二階に貫通している装飾の柱をまばらに設置している。室内ではあるが、一階と二階の間である天井と床の部分をガラスにしている為、貫通しているのが良くわかる。さらにはエレベーターや、ガラスの壁ではない部屋の壁も、垂直の節は全て、細い「サ」にしている。

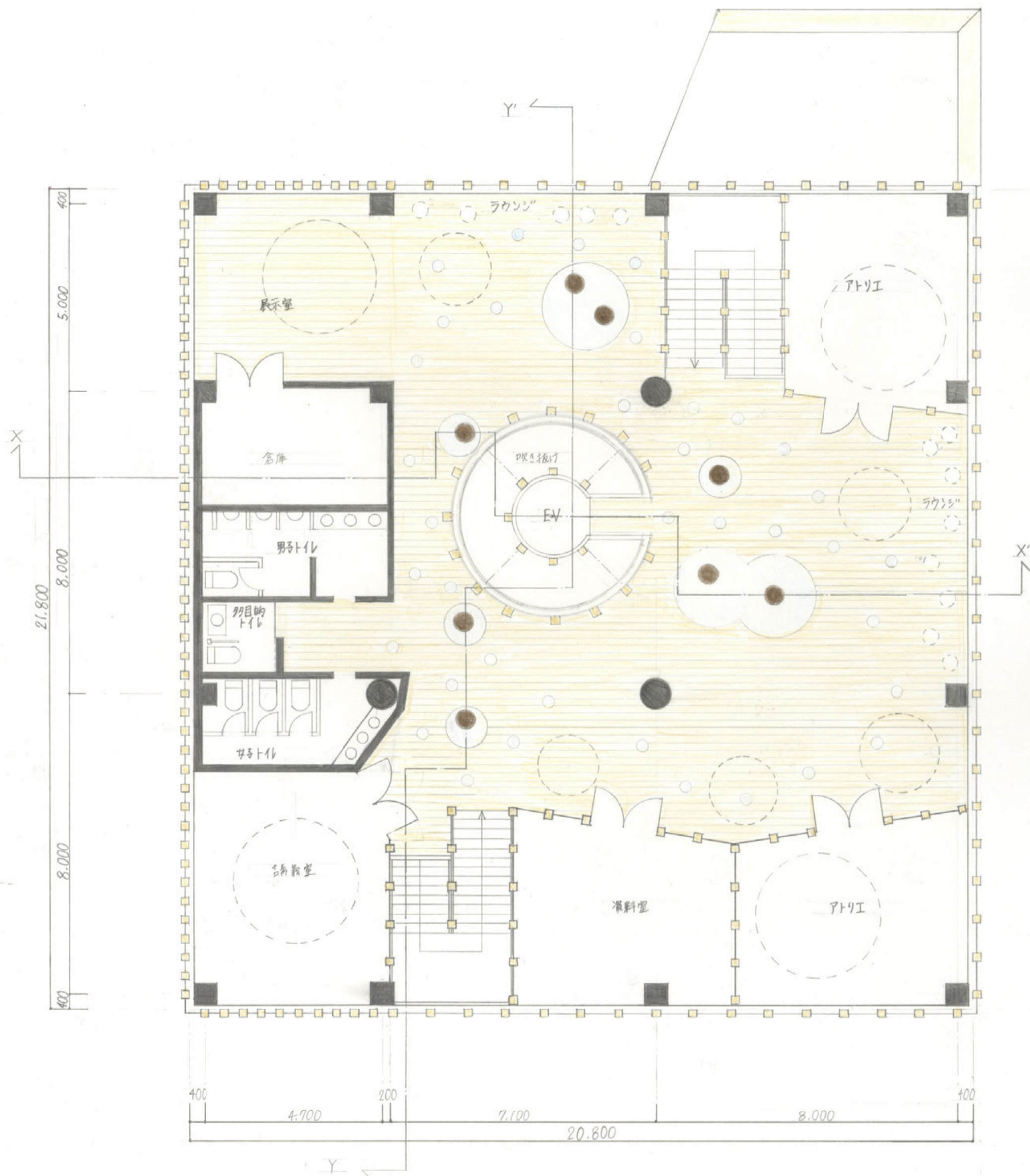
外構の植栽もヒノキを使用しており、細いヒノキが沢山配置した。

面積表		仕上げ表/外部仕上げ	
敷地面積	744.00 m <sup>2</sup>	屋根	シート防止/塗膜防止
建築面積	406.81 m <sup>2</sup>	外壁	ガラス張り
床面積 1F	406.81 m <sup>2</sup>	地面	砂利
床面積 2F	405.92 m <sup>2</sup>	屋外カマ	吉野ヒノキ
延べ床面積	812.23 m <sup>2</sup>	駐車場	土間コンクリート

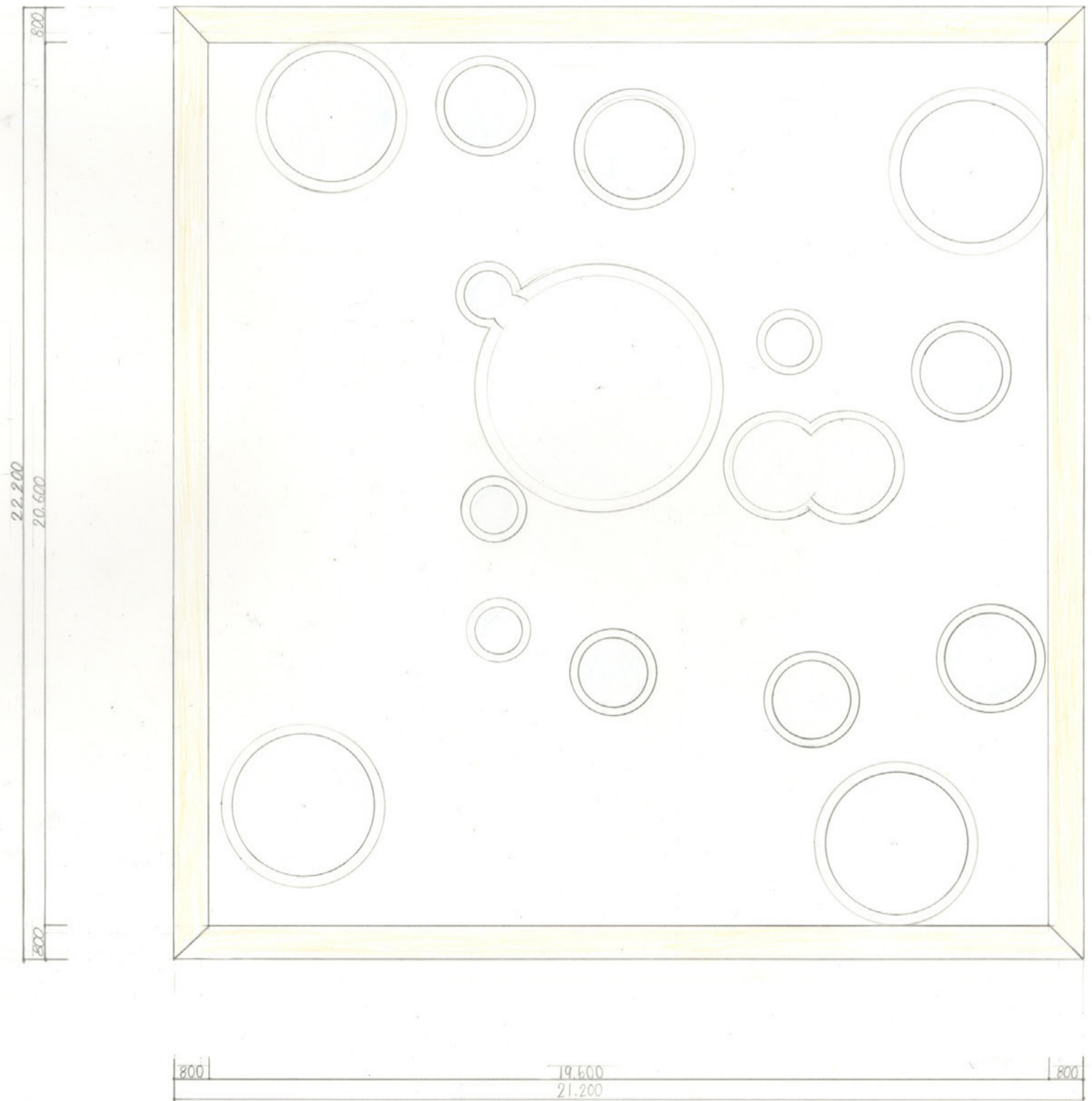
  

仕上げ表/内部仕上げ			
	天井	壁	床
エントランスホール・ラウンジ	ガラス	ガラス張り	ガラス張り 70-71
カフェ	ガラス	ガラス張り	吉野ヒノキ 71
99日目ホール	ガラス	ガラス張り	吉野ヒノキ 70-71
アトリエ	ガラス	ガラス張り	吉野ヒノキ 70-71

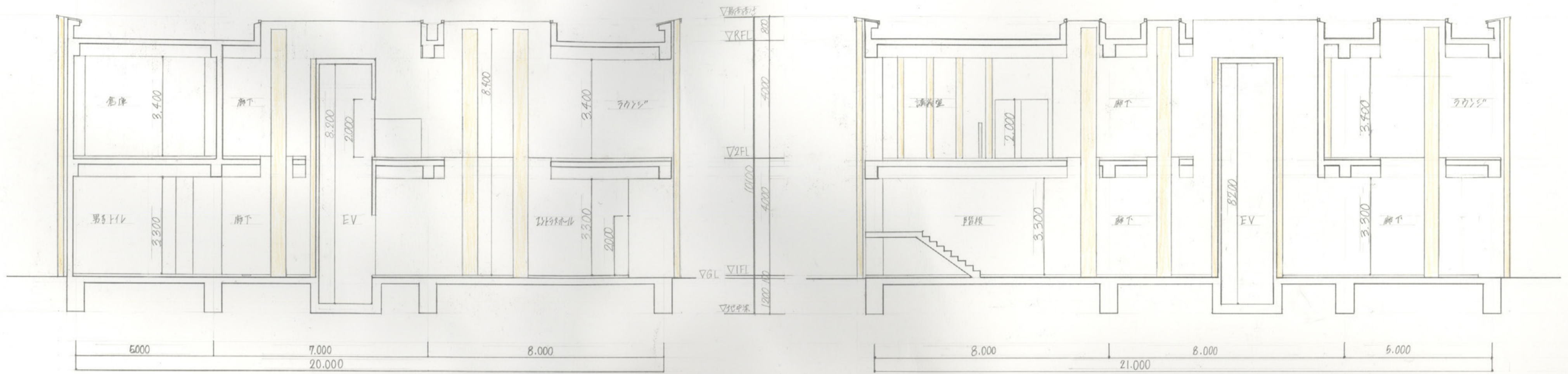




二階平面図(S=1/100)



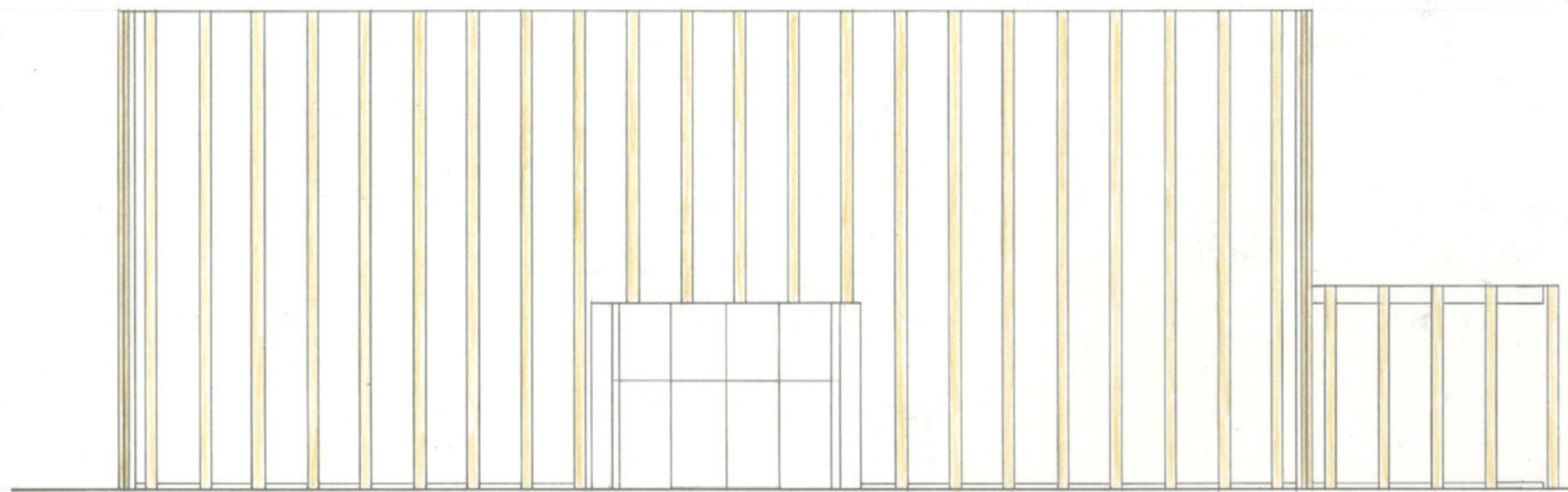
屋根状図(S=1/100)



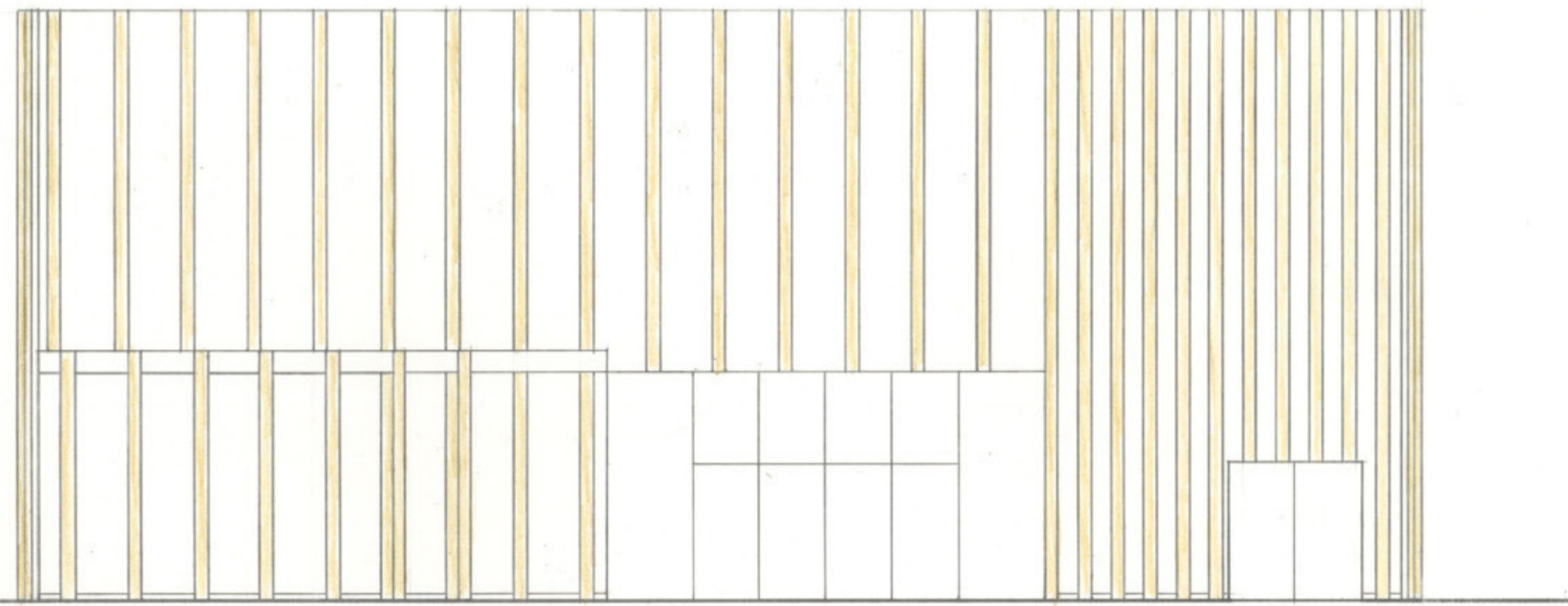
X-X'断面图(S=1/100)

Y-Y'断面图(S=1/100)





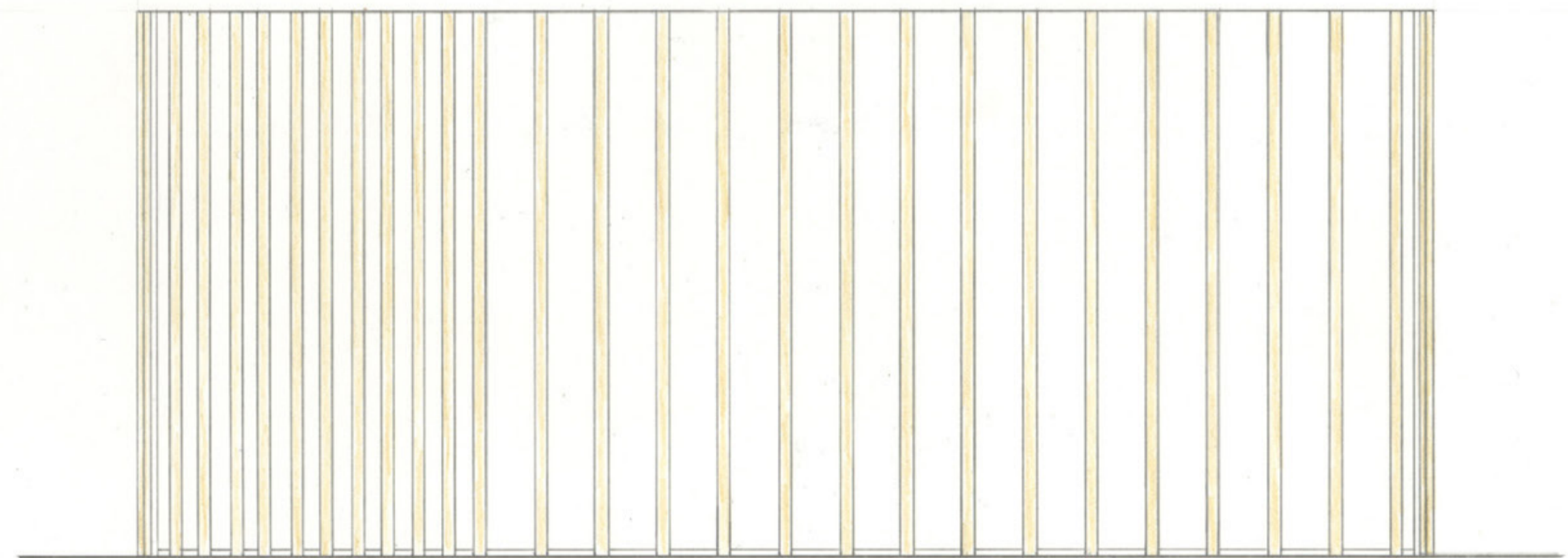
東立面图(S=1/100)



北立面图(S=1/100)

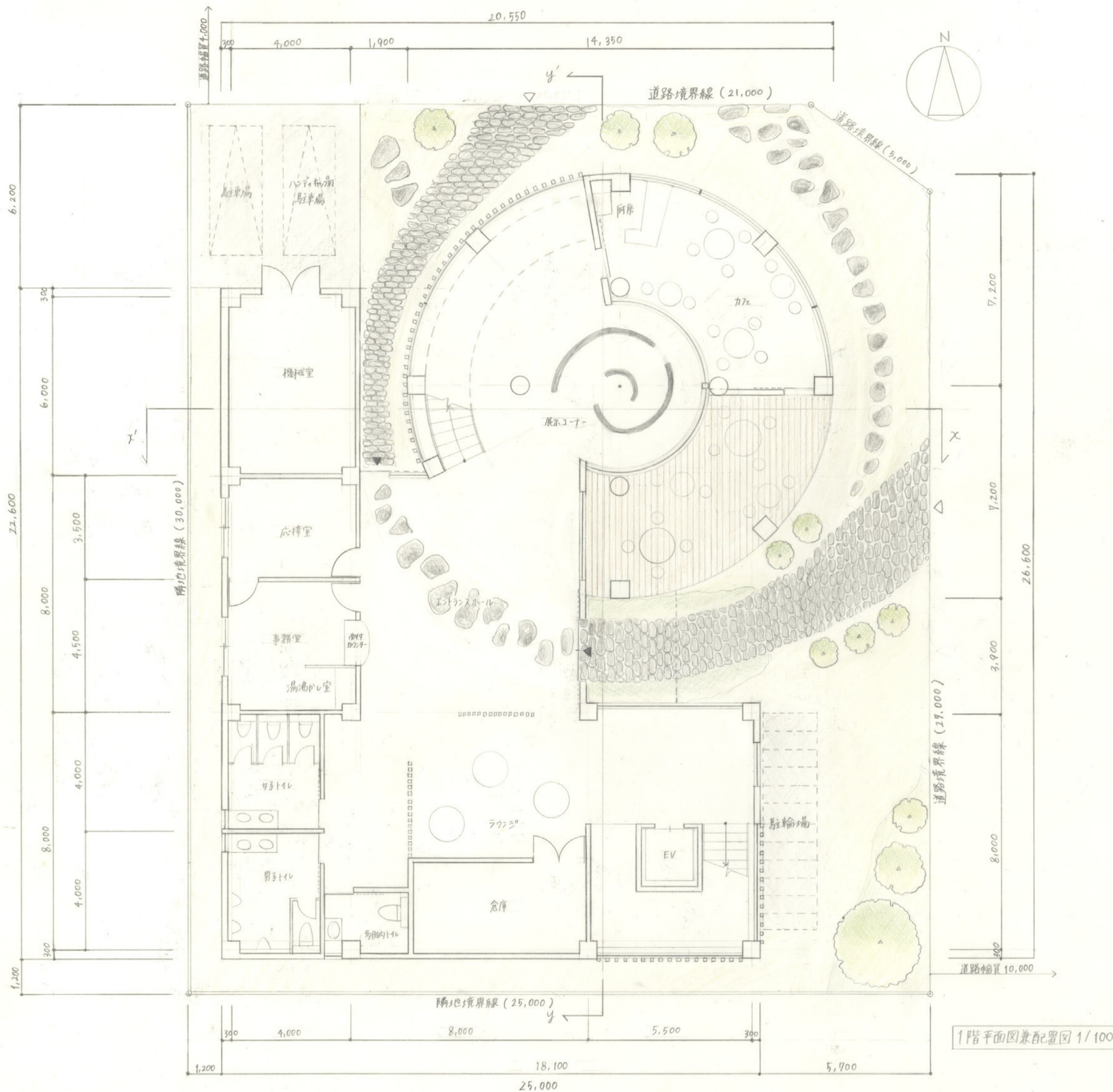


西立面图(S=1/100)



南立面图(S=1/100)

# 紡ぎ、繋ぐ



**コンセプト**  
 奈良の伝統工芸品である奈良晒。その奈良晒を学習・体験し、その良さを肌で感じることでできる文化学習体験複合施設を設計しました。奈良晒を通して伝統を伝える高齢の職人の方と若者世代の観光客とを繋ぎます。奈良晒の特徴、「柔らかさ」を円形で表現しました。人の動線も曲線階段を用い、壁の展示を見ながら自然とアトリエ、資料コーナーへと誘導し、曲線的に回遊できるようにしました。奈良町と奈良晒の掛け合わせを意識して、奈良町の特徴「格子の抜け感」と奈良晒の特徴「白さ」と「柔らかさ」を取り入れました。

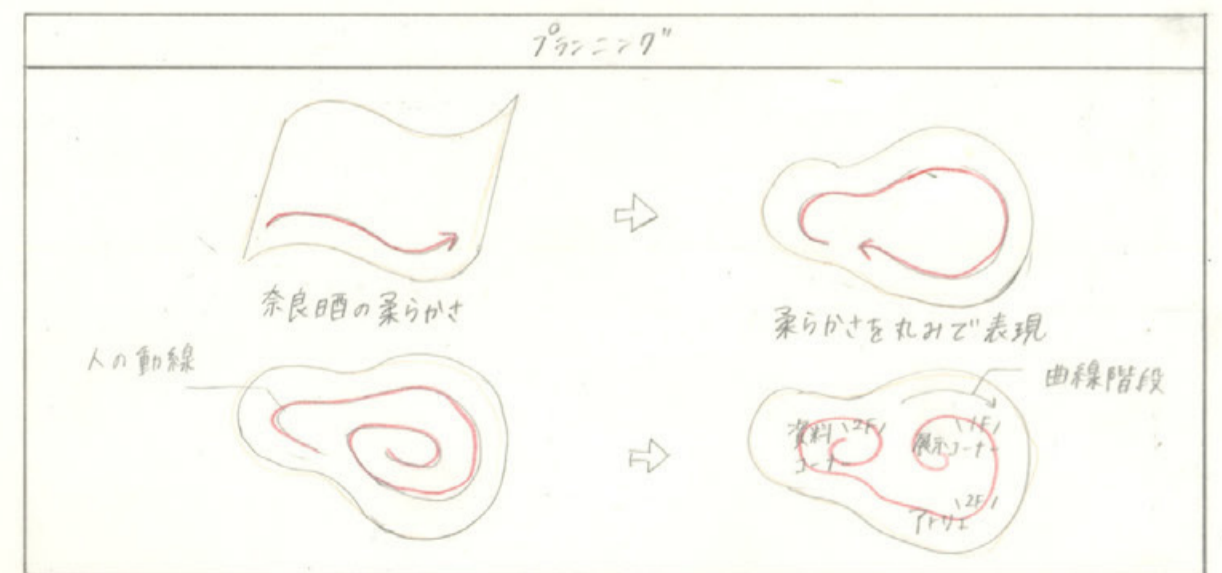
**仕上げ表**

外部仕上げ	屋根	アスファルト防水		
	外壁	漆喰		
	化粧材	吉野ヒキ		
内部仕上げ		天井	壁	床
	エントランスホール	EP塗装	EP塗装	磁器質タイル
	カフェ	ナラ羽目板	EP塗装	吉野ヒキ70-117°
	アトリエ	EP塗装		吉野ヒキ70-117°
	多目的ホール	ロックウール化粧板	EP塗装	磁器質タイル

**奈良晒について**  
 良質は高級麻織物であり、緯糸にひおろしをかけかき織るのが特徴。そのため柔らかく深めやすく、水分の吸収が良い。また、白さや肌ざらりのよさに、おいても奈良を誇る伝統工芸品である。

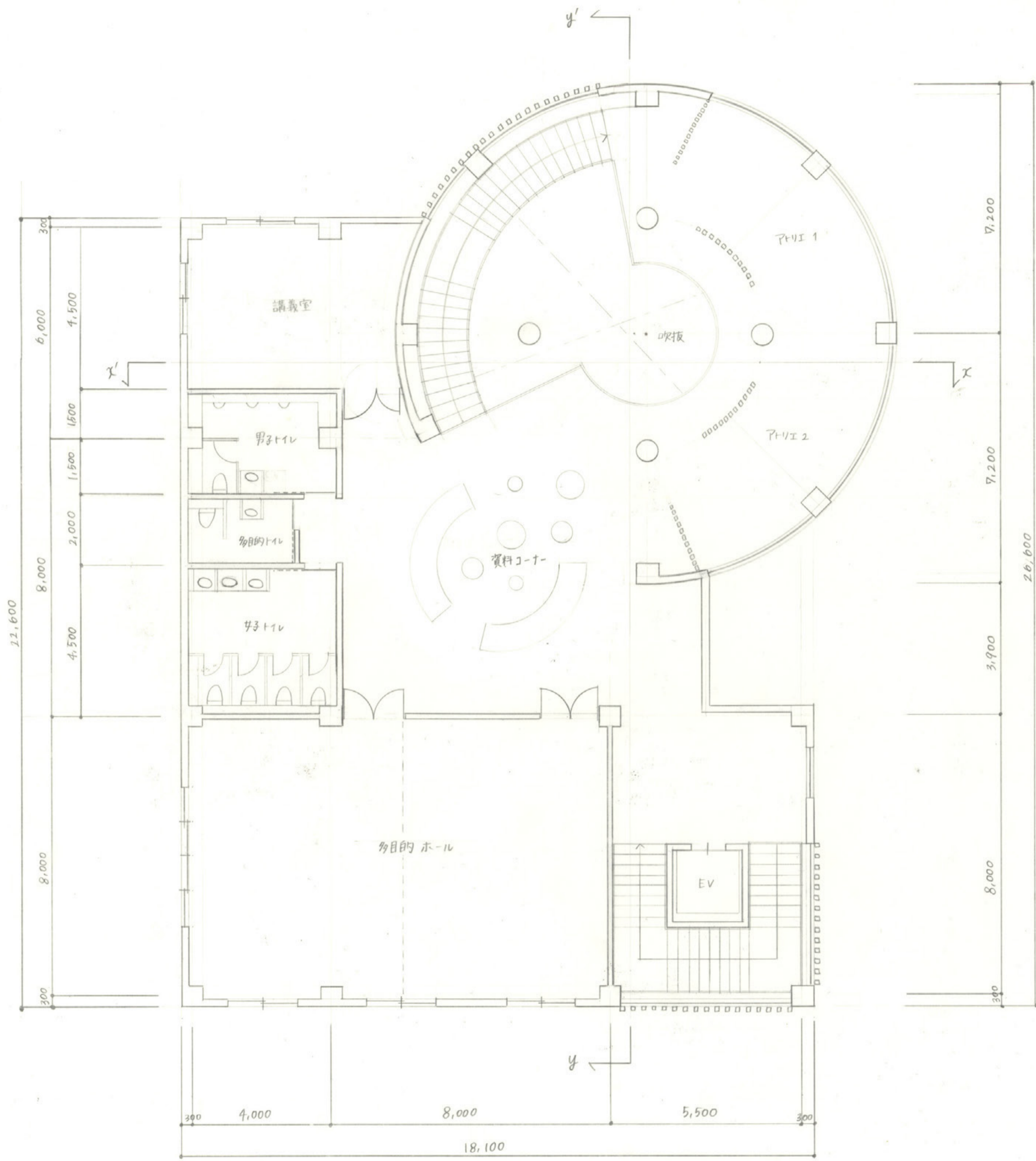
**面積表**

敷地面積	744.00 m <sup>2</sup>	
建築面積	420.30 m <sup>2</sup>	
床面積	1F	384.20 m <sup>2</sup>
	2F	416.60 m <sup>2</sup>
延床面積	800.80 m <sup>2</sup>	



1階平面図兼配置図 1/100

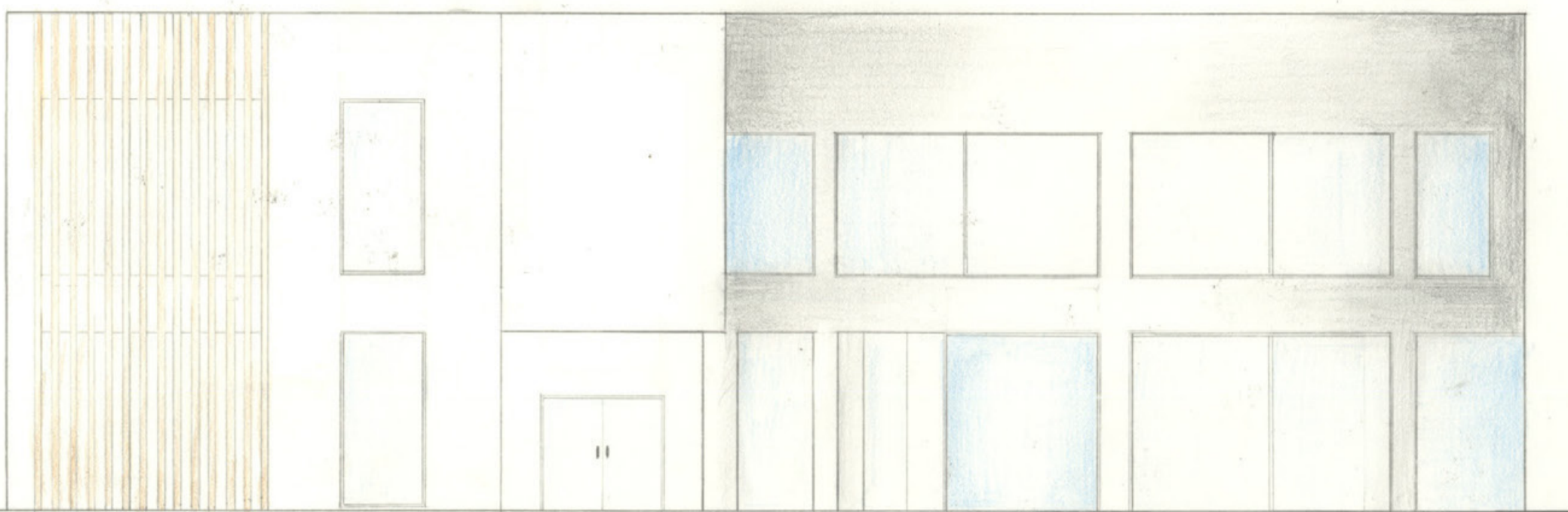




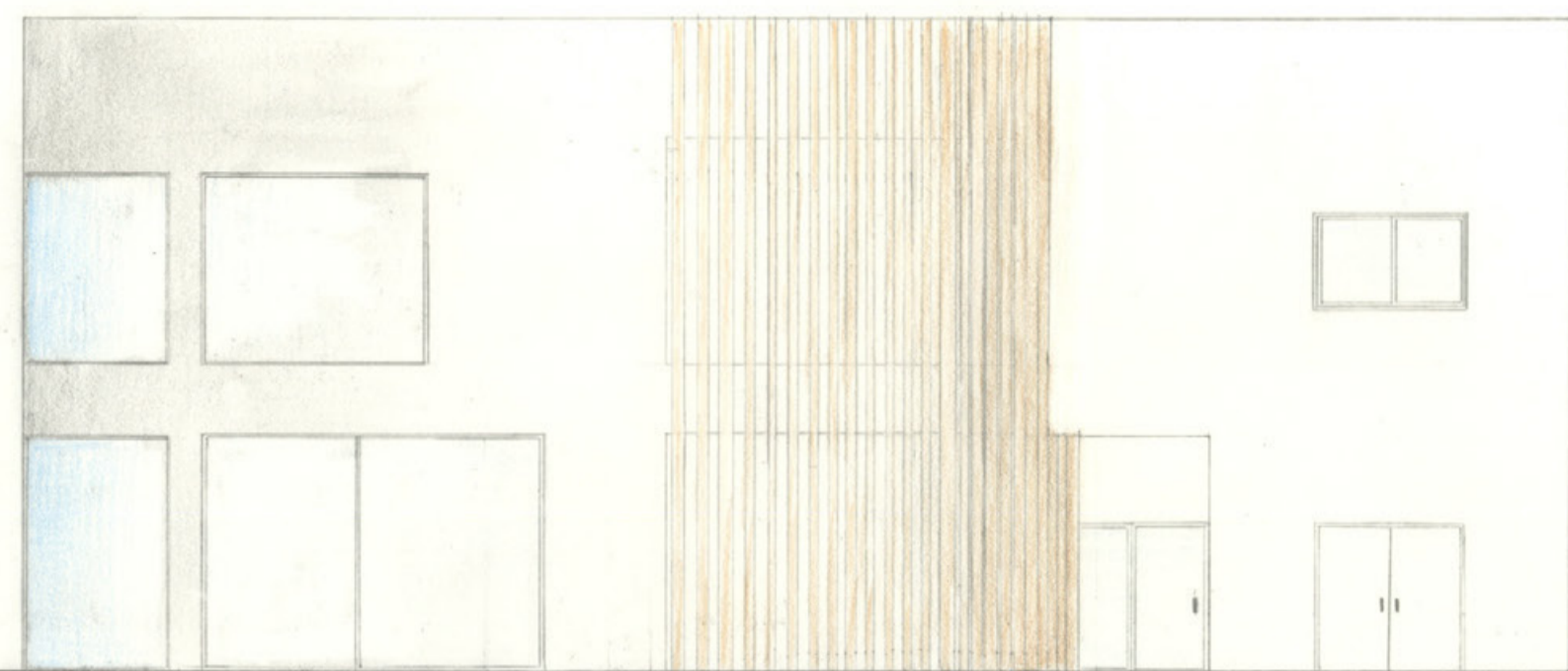
紡ぎ、繋ぐ

S = 1 : 100

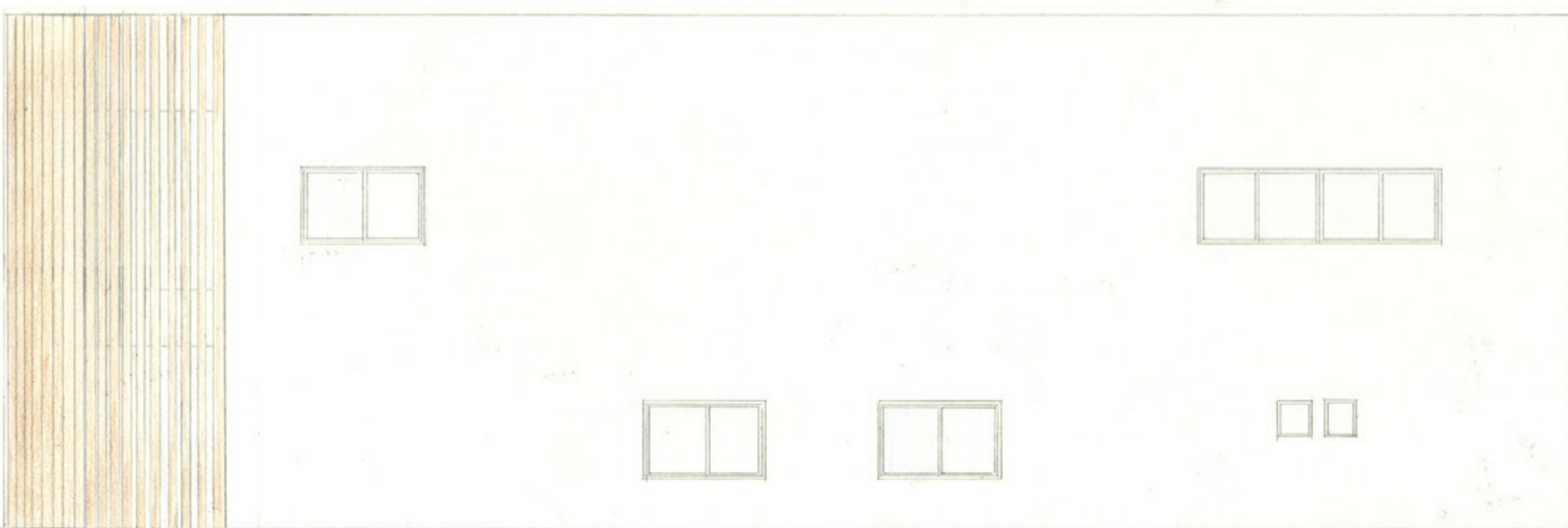
奥村 汐音



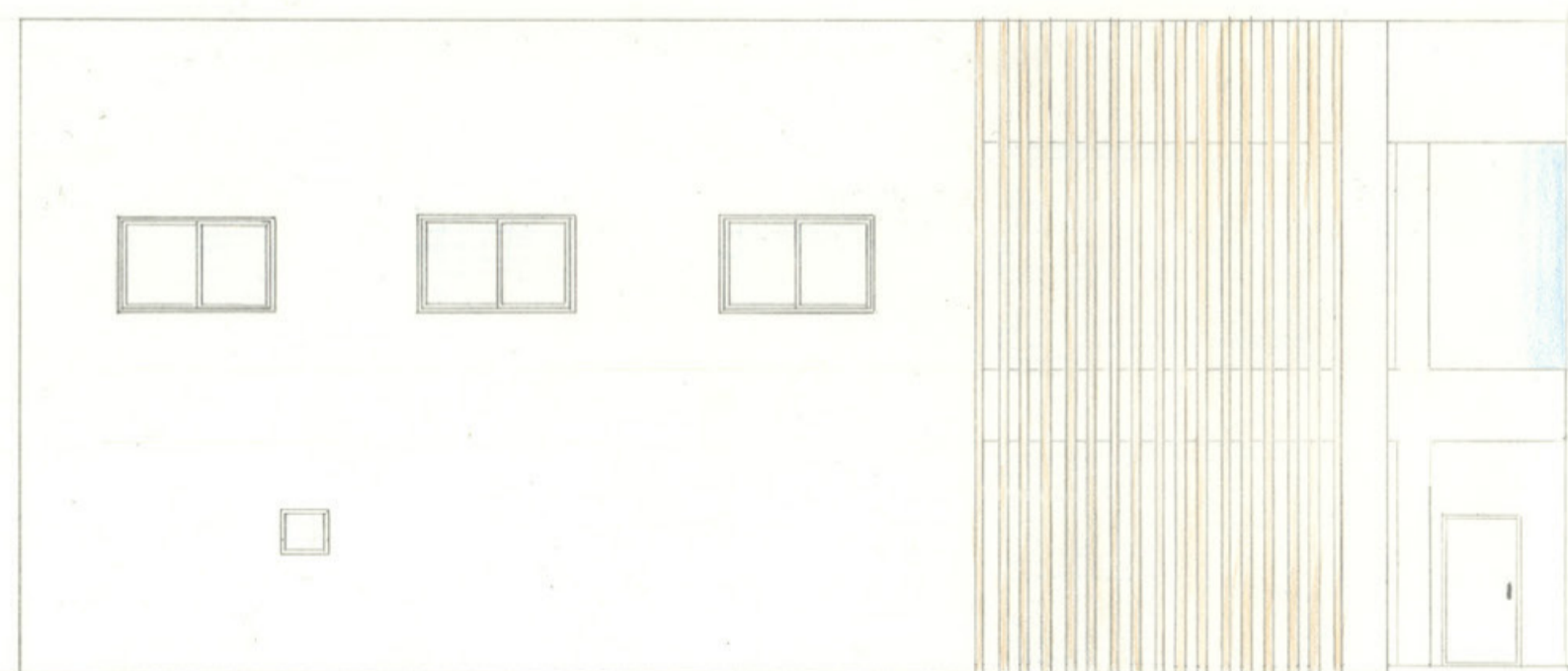
東立面図 1/100



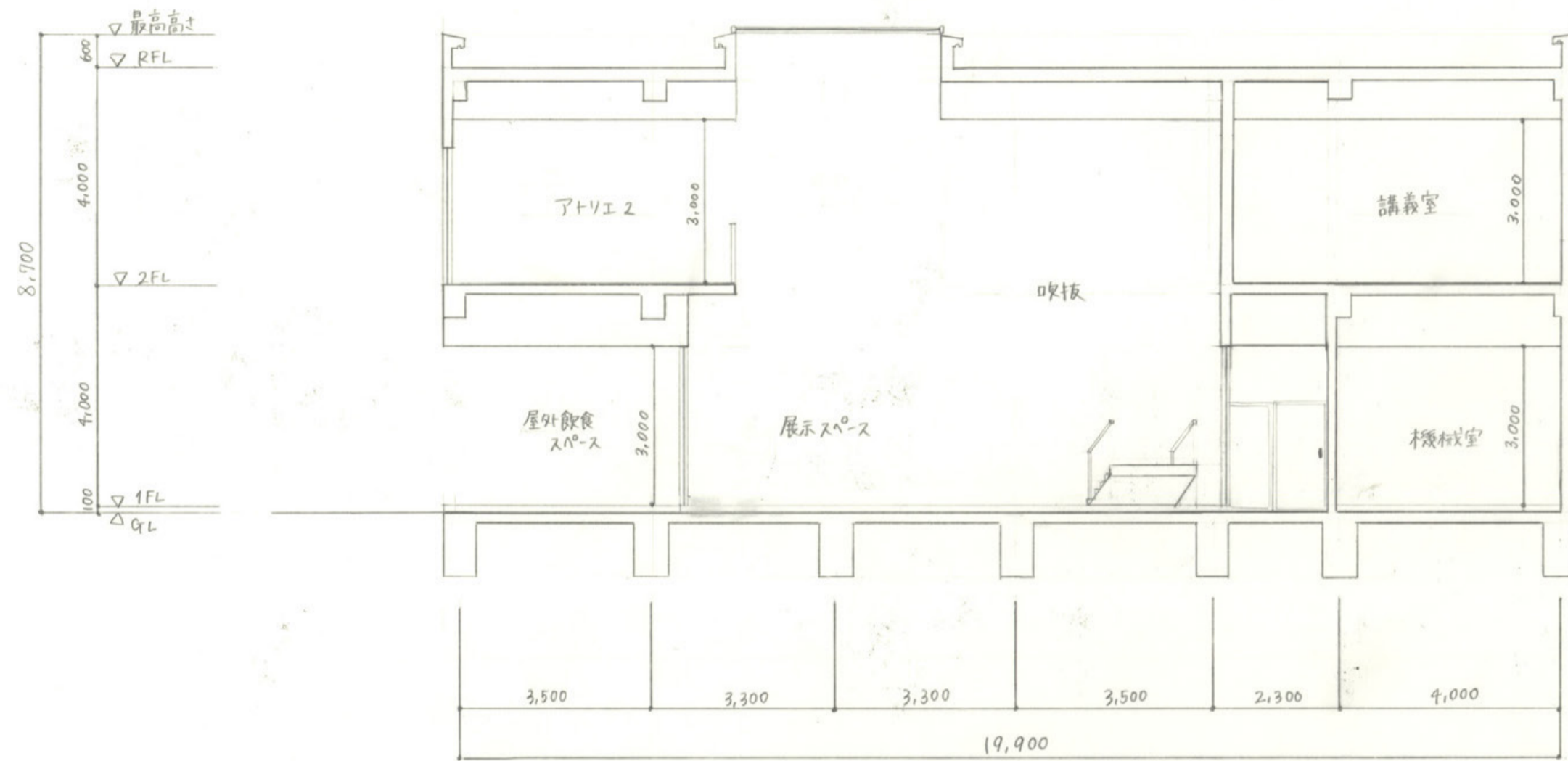
北立面図 1/100



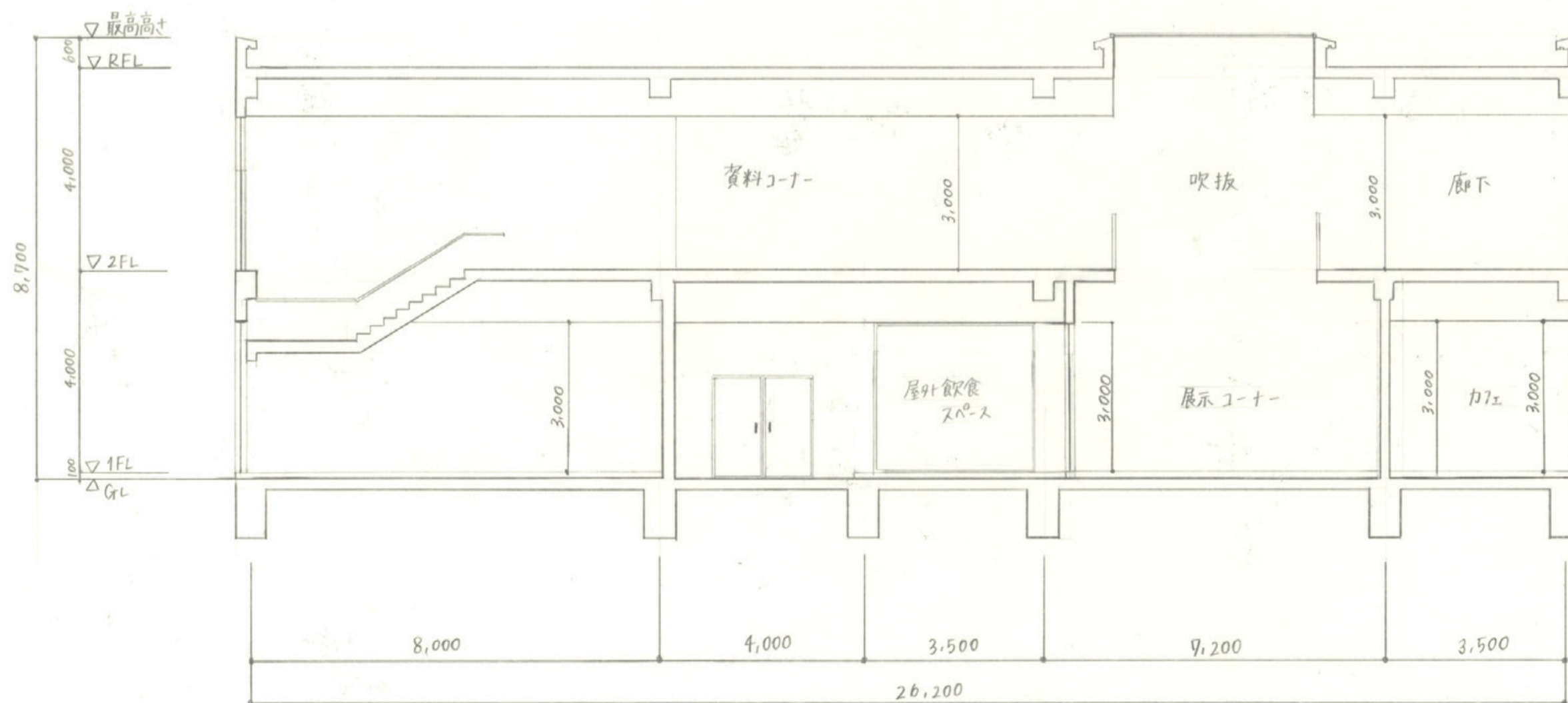
西立面図 1/100



南立面図 1/100



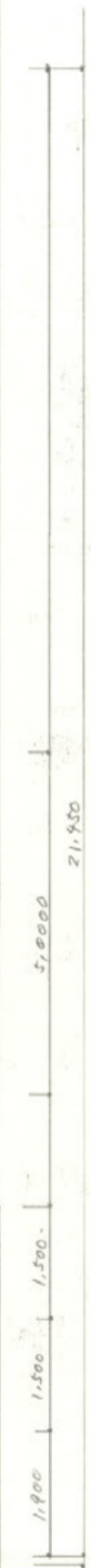
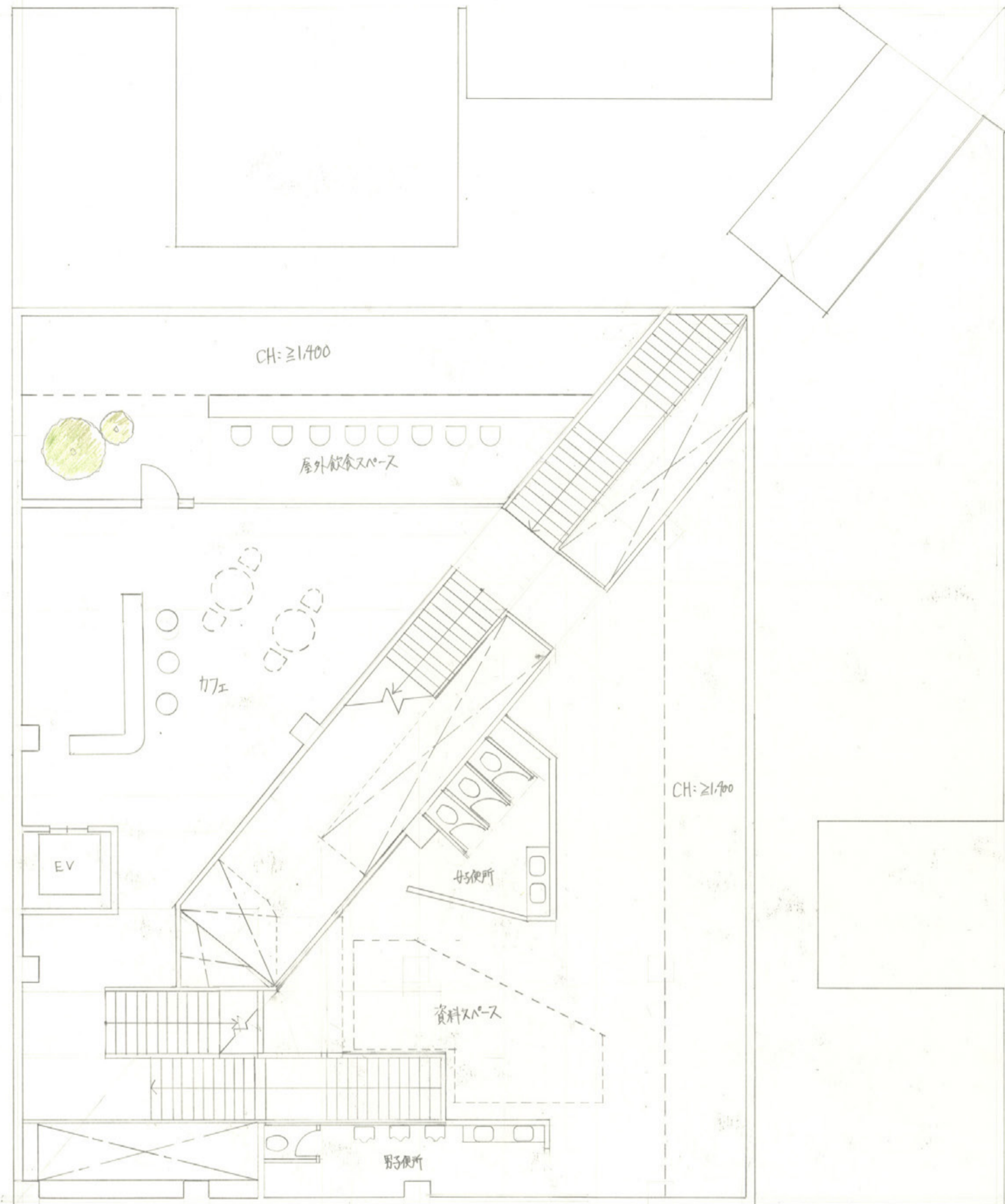
X-X' 断面図 1/100



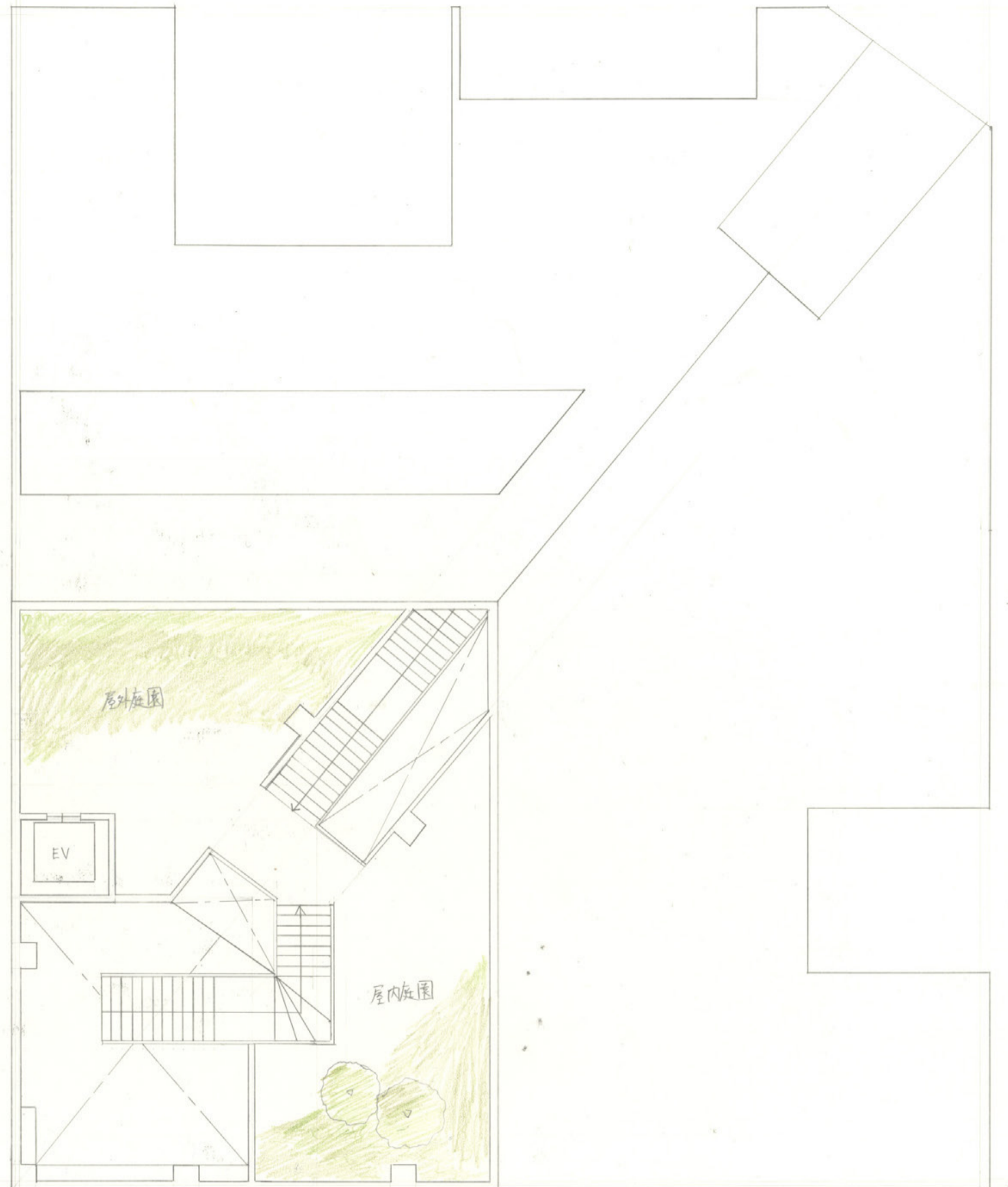
Y-Y' 断面図 1/100





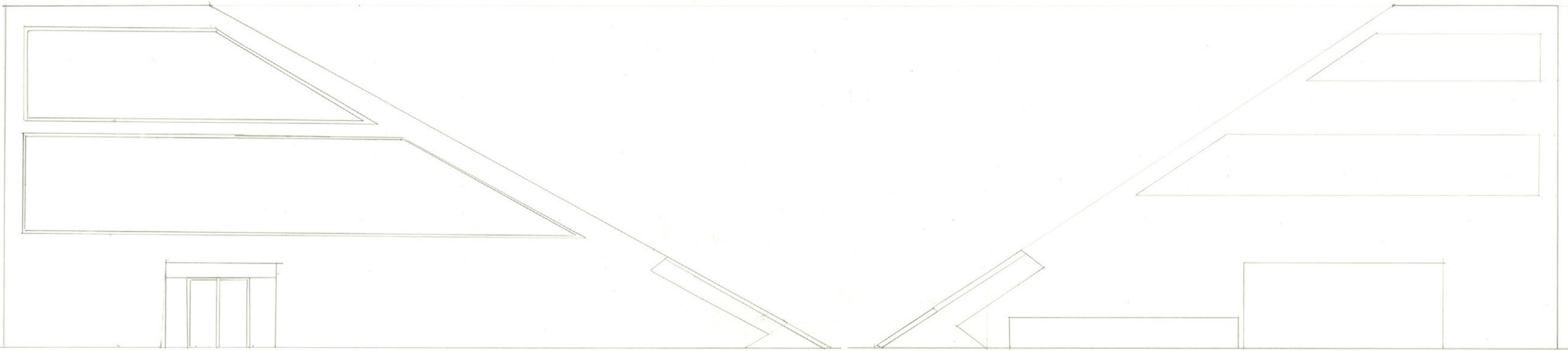


2階平面図兼配置図(S=1/100)



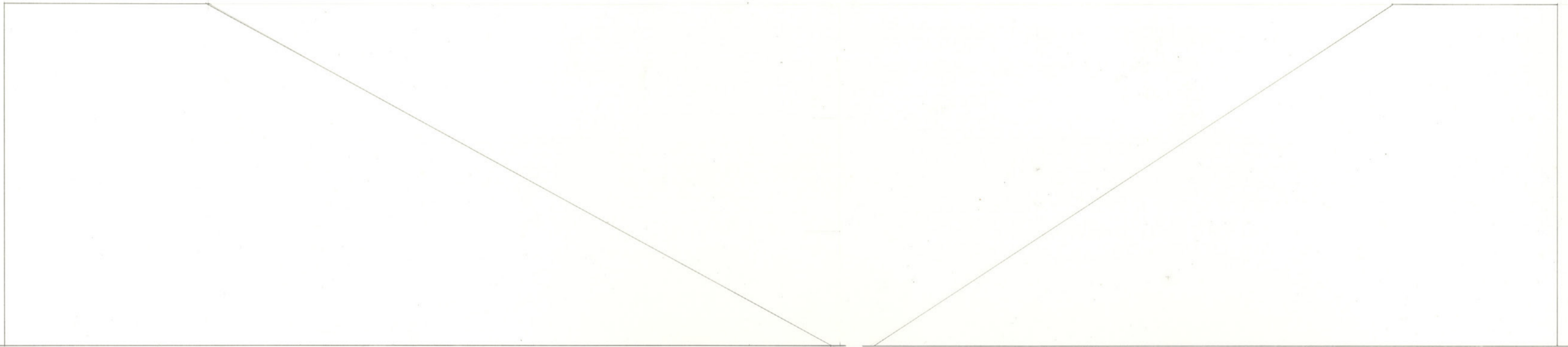
3階平面図兼配置図





東立面図(S=1/100)

北立面図(S=1/100)

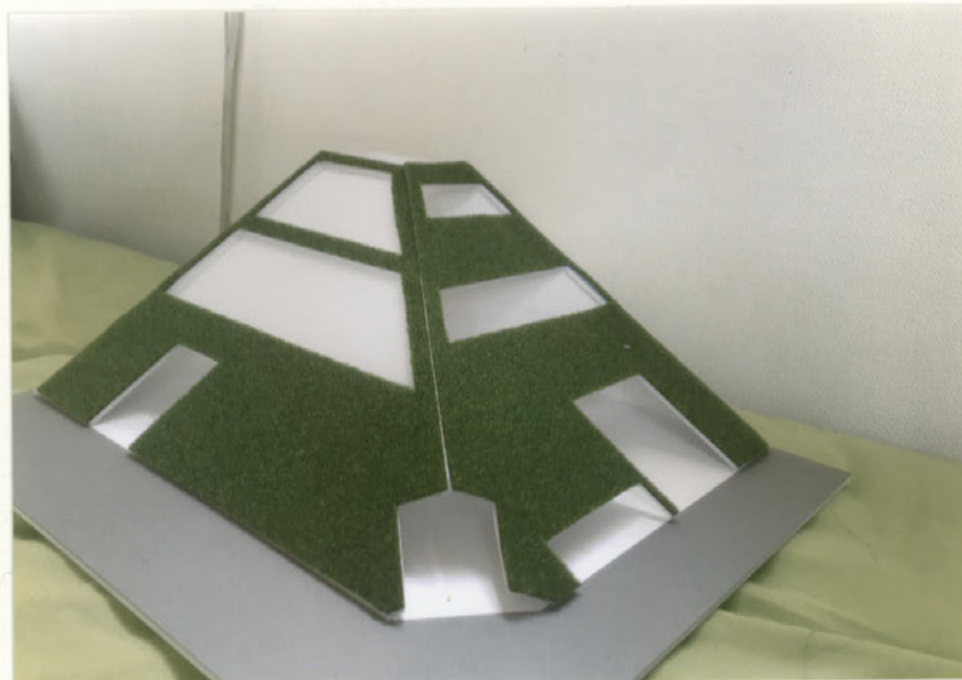


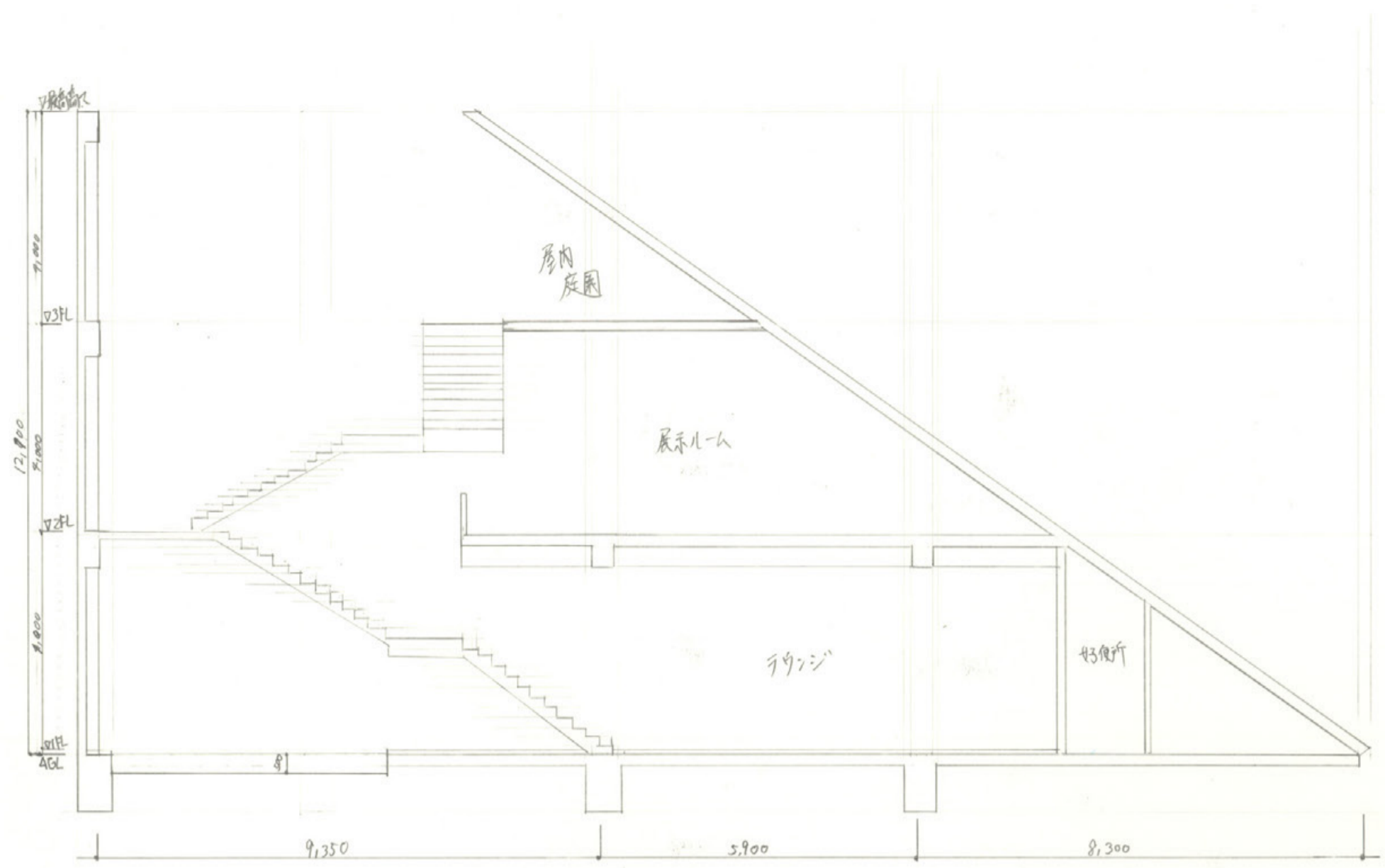
西立面図(S=1/100)

南立面図(S=1/100)

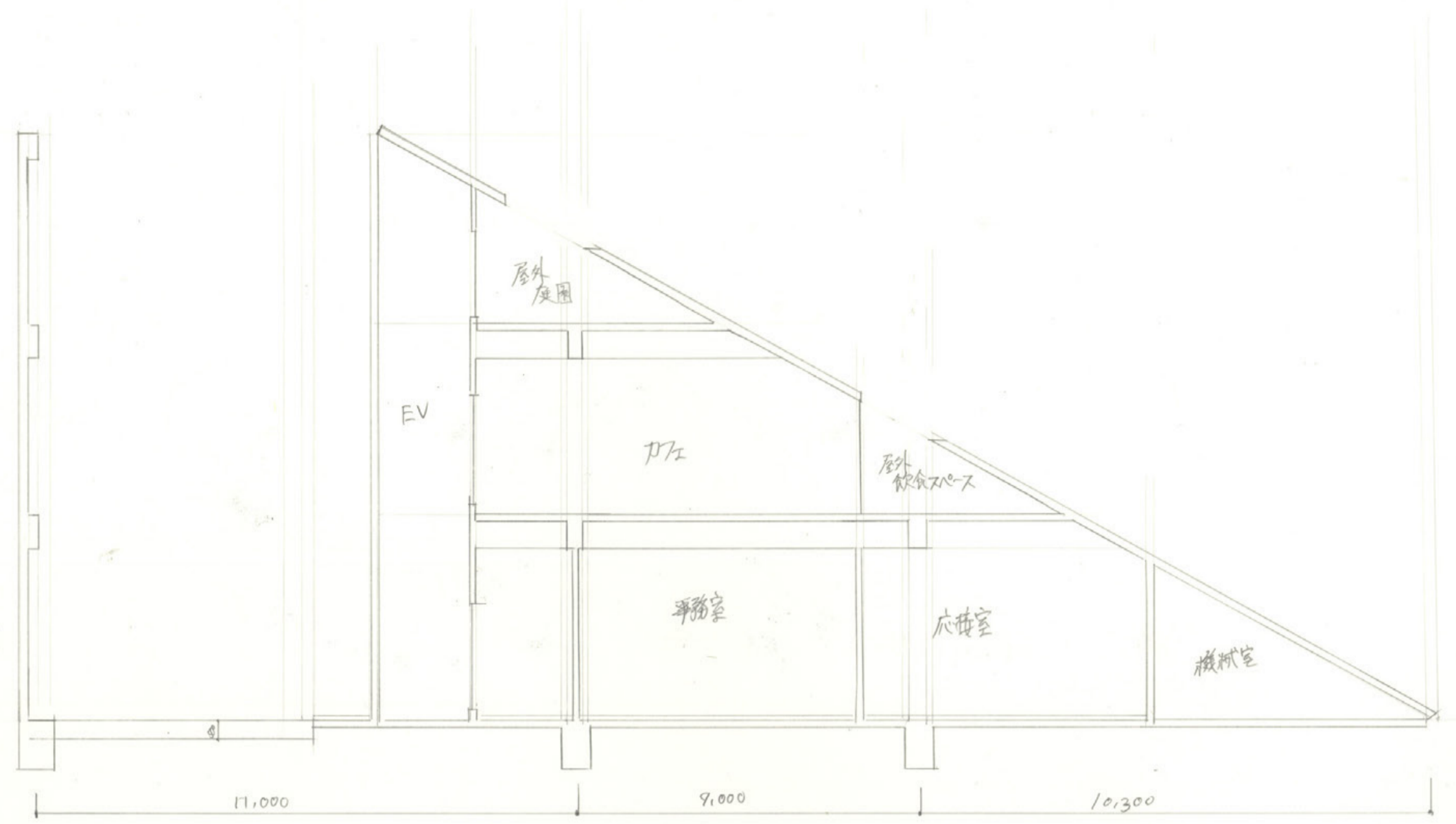
面積表	
1F階	549.975m <sup>2</sup>
2F階	133.050m <sup>2</sup>
3F階	27.000m <sup>2</sup>
延床面積	712.025m <sup>2</sup>
建築面積	696.000m <sup>2</sup>
敷地面積	744.000m <sup>2</sup>

仕上り表		
外部仕上	見生 / コーテジ	
外層	見生 / コーテジ	
内部仕上	見生 / コーテジ	
1F階	床	杉
	壁	杉
	天井	杉
2F階	床	杉
	壁	杉
	天井	杉
	加床	杉
	加床壁	コンクリート
	加床天井	コンクリート
	その他床	杉
	その他壁	杉
	その他天井	杉
3F階	床	モルタル
	壁	モルタル
	天井	モルタル





A-A'断面図 (S=1/100)



X-X'断面図 (S=1/100)

# 藍風

## コンセプト

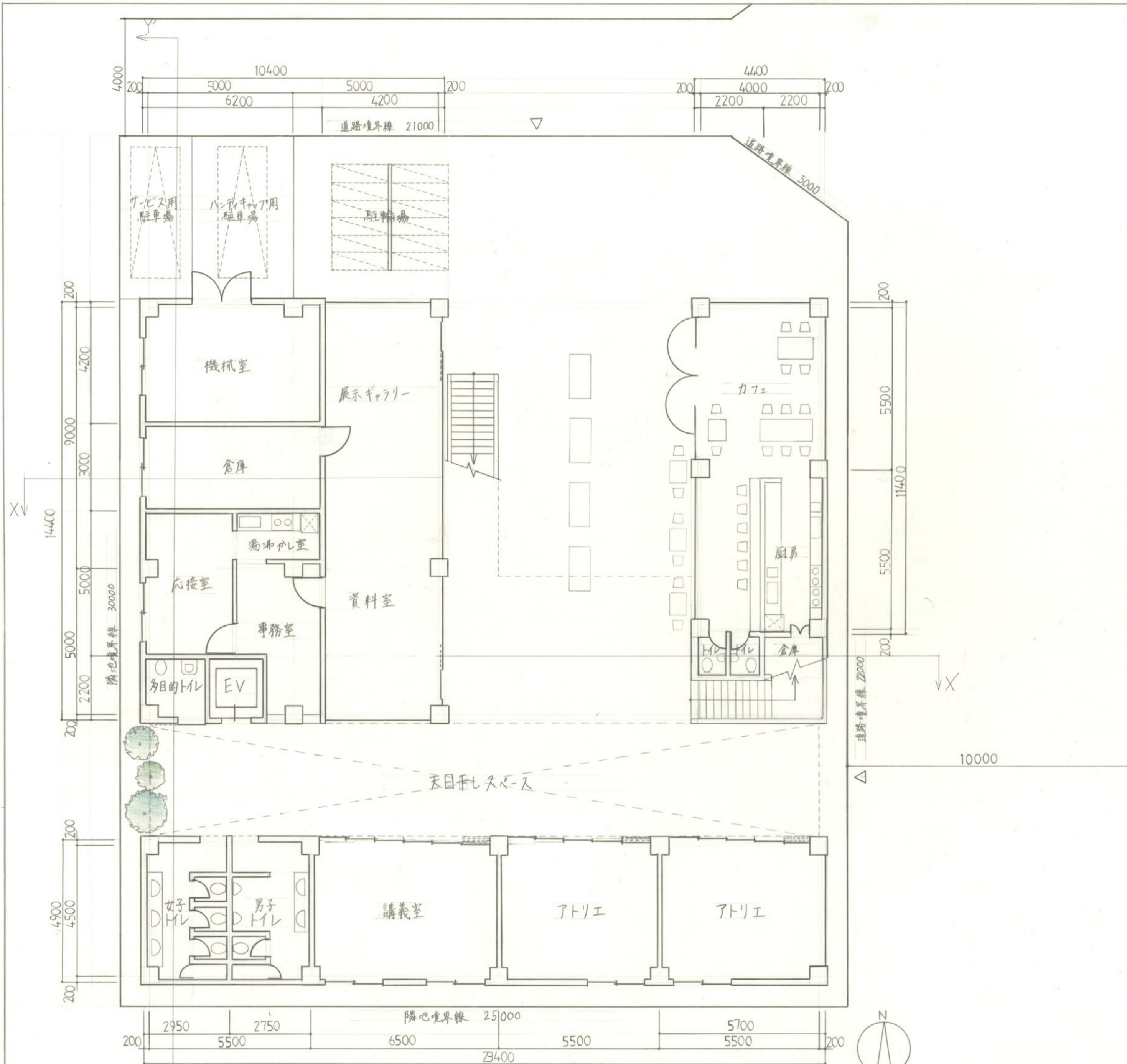
江戸時代から続く奈良県の伝統工芸品、空間藍染。染める回数によって色が変わり、ひとつひとつに「水浅葱」「納戸」「揚色」といった伝統的な名前をつけ、古くから日本人は大切にしてきました。自然豊かな奈良の澄んだ空気に、藍の香りが少し混ざり、それが建物の隙間を通り抜け、染められた布がゆがゆがと揺れる。観光に来た人だけでなく、地元の人にとっても心地のよい空間に仕上げた。ただの道としても利用できるようにすることで、その空間に誰でも気軽に入れ、その意識がなくとも藍染を目で見、肌で実感でき、興味を持ってもらうことができる。藍染だけでなく、五重塔や若草山など奈良の文化遺産や自然も楽しんでもらえるような位置にカフェを設けた。そうすることで、お客様には藍染と奈良の良さを同時に味わってもらうことができる。さらに、道沿いの最も目立つ場所のため、施設に入るきっかけ作りにもなる。

## 仕上げ表

外部	屋根	ガルバリウム鋼板
	外壁	吉野杉 横張り、押出し成形セメント板
内部	天井	吉野杉 化粧垂木
	壁	吉野杉 横張り
	床	吉野杉 フローリング

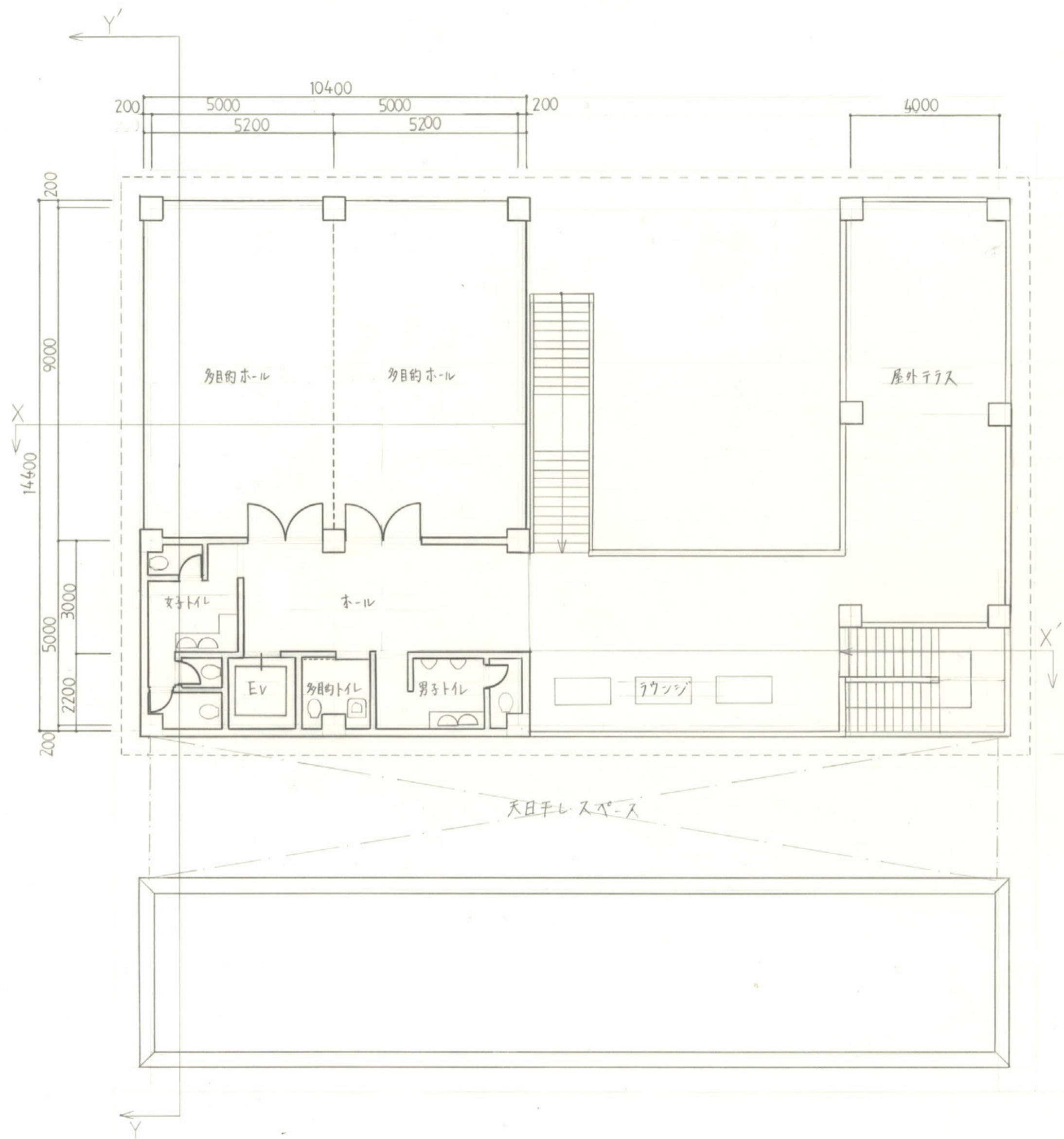
## 面積表

敷地面積	744.00 m <sup>2</sup>	
建築面積	452.10 m <sup>2</sup>	
床面積	1F	451.62 m <sup>2</sup>
	2F	266.12 m <sup>2</sup>
延べ床面積	717.74 m <sup>2</sup>	



1階平面図兼配置図 S=1/100

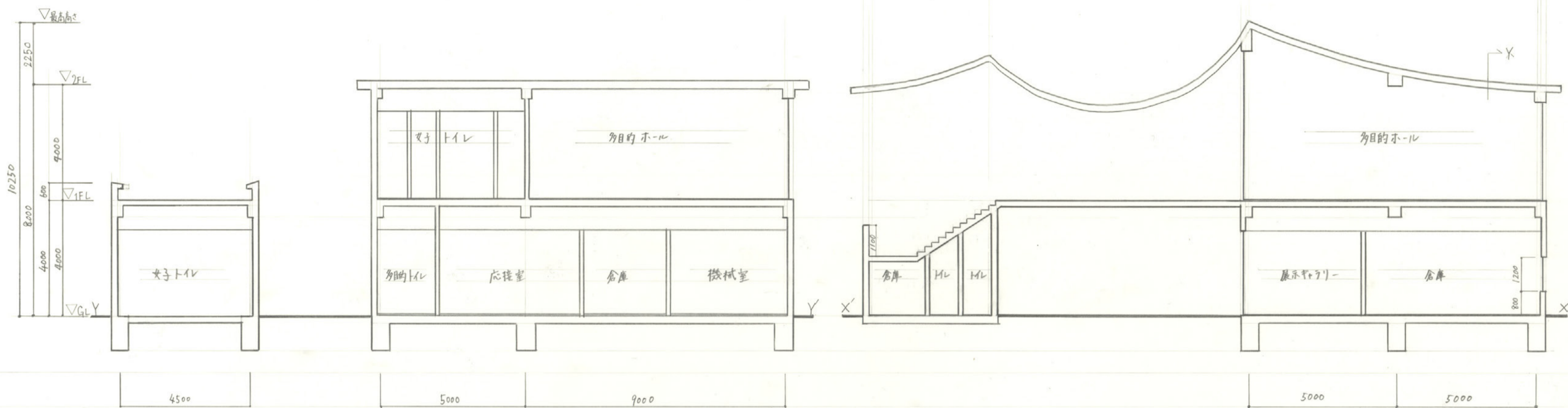




2階平面図兼配置図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



Y-Y' 断面図 S=1/100

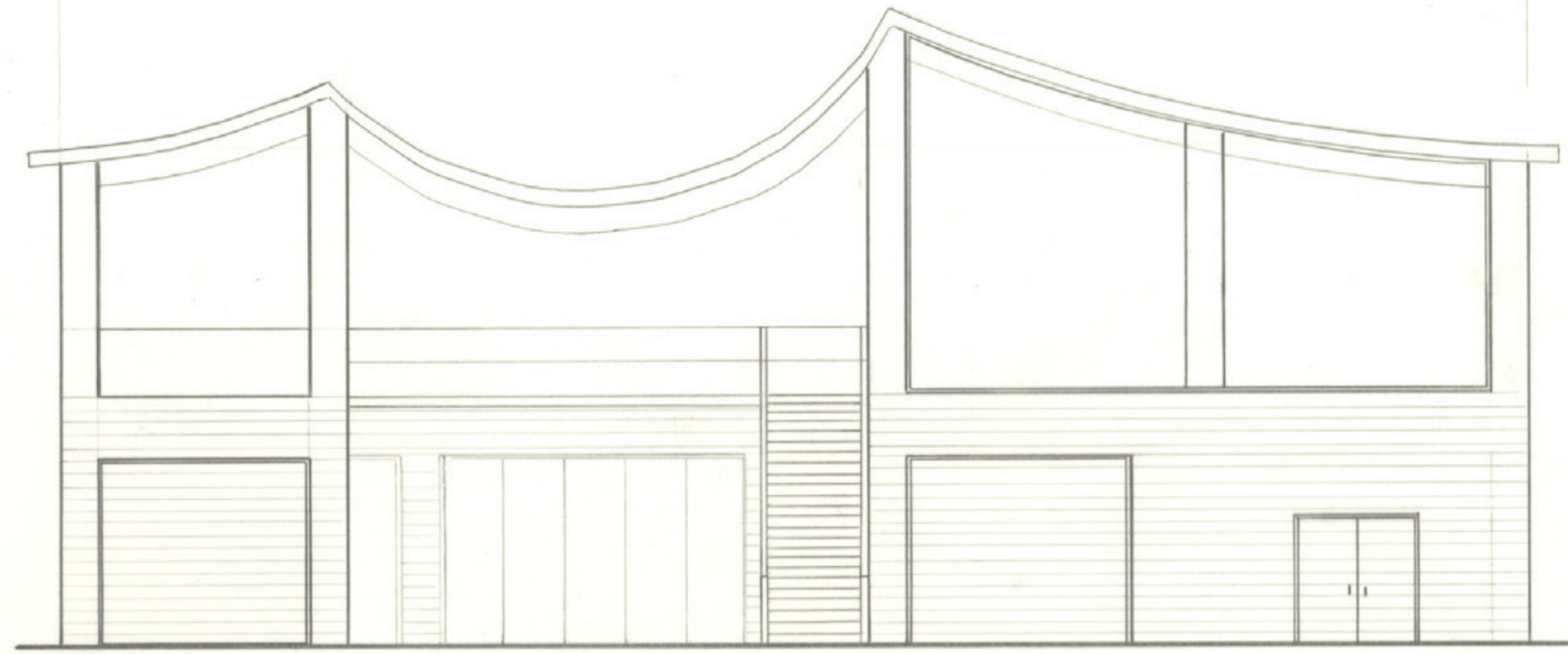
X-X' 断面図 S=1/100



VGL



東立面図  $S=1/100$

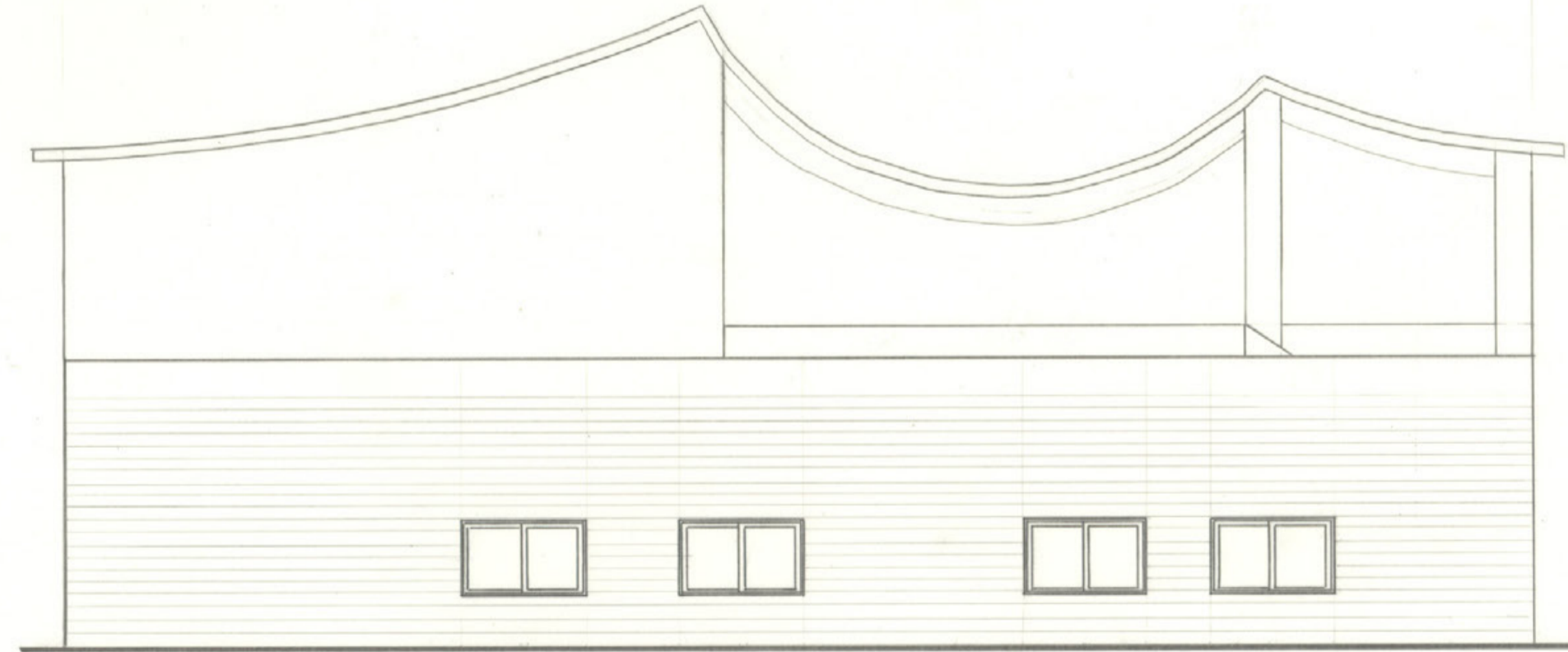


北立面図  $S=1/100$

VGL

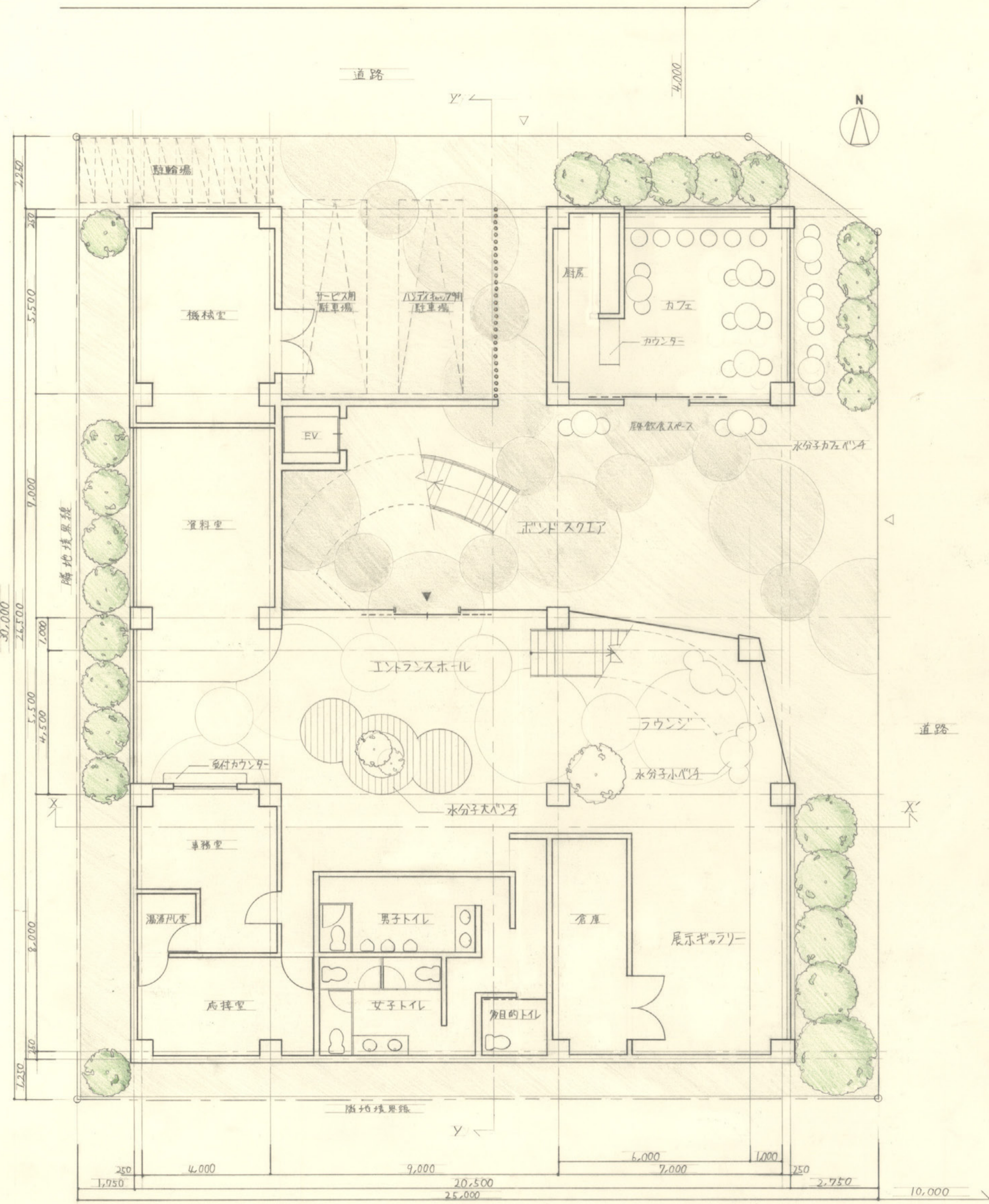


西立面図  $S=1/100$



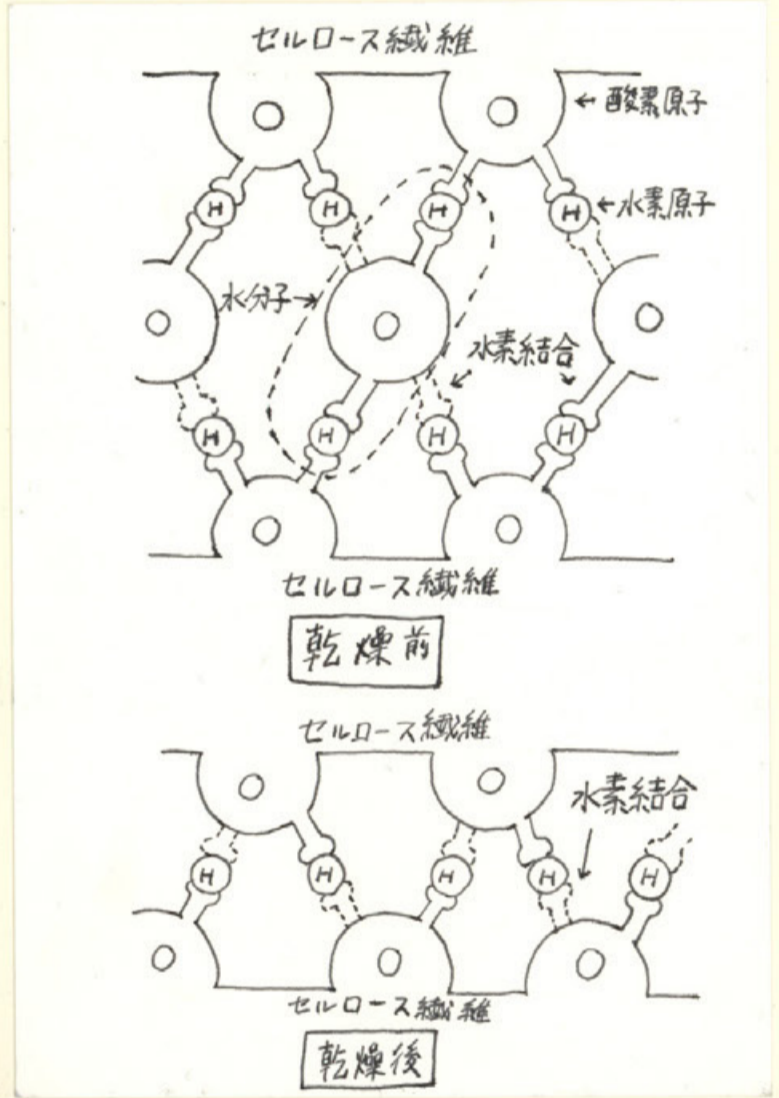
南立面図  $S=1/100$

# 水素結合でつながる奈良



**コンセプト**  
 奈良の伝統・文化にたくさん触れてきた人に、新たな憩いの場を設けたいという願いをこめ、設計しました。奈良の伝統文化の中でも吉野手漉き和紙をピックアップし、建築の様々な部分に和紙の強さの秘密である水素結合を表しました。例えば、広場の上にある2階と屋上ガラスを結び階段は中央の丸い部分が酸素で、階段部分は酸素の手を表しています。こうして水素結合の要素をあしらっているだけでなく、水分子の形をしたベンチが所々にあります。これは、また建物内に水分が残っていて和紙のまだ不完全な姿を表現しています。すなわち、奈良がこれからも発展し続けることをイメージしました。

**水素結合とは**  
 和紙の中にもともとあった水分が乾燥するときにセルロース同士が複雑に絡み合うことにより強い和紙になる。このセルロース同士が絡み合う化学反応のことを水素結合という。水素結合は水素が持つプラスの力と酸素が持つマイナスの力がお互いに引き寄せあうことで起こる。



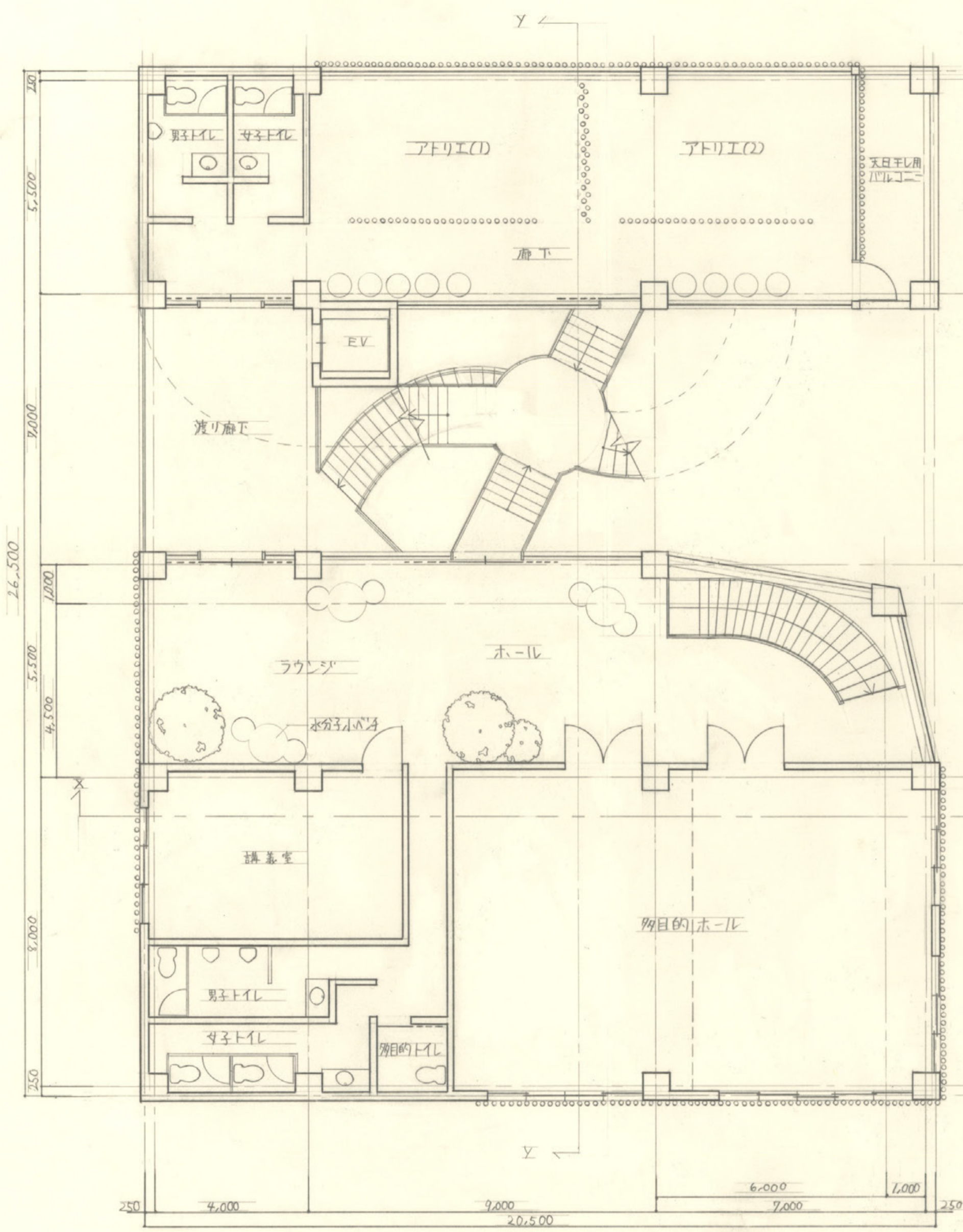
**面積表**

敷地面積	744.00 m <sup>2</sup>
建築面積	543.25 m <sup>2</sup>
床面積	1F 377.25 m <sup>2</sup>
	2F 389.50 m <sup>2</sup>
延床面積	766.75 m <sup>2</sup>

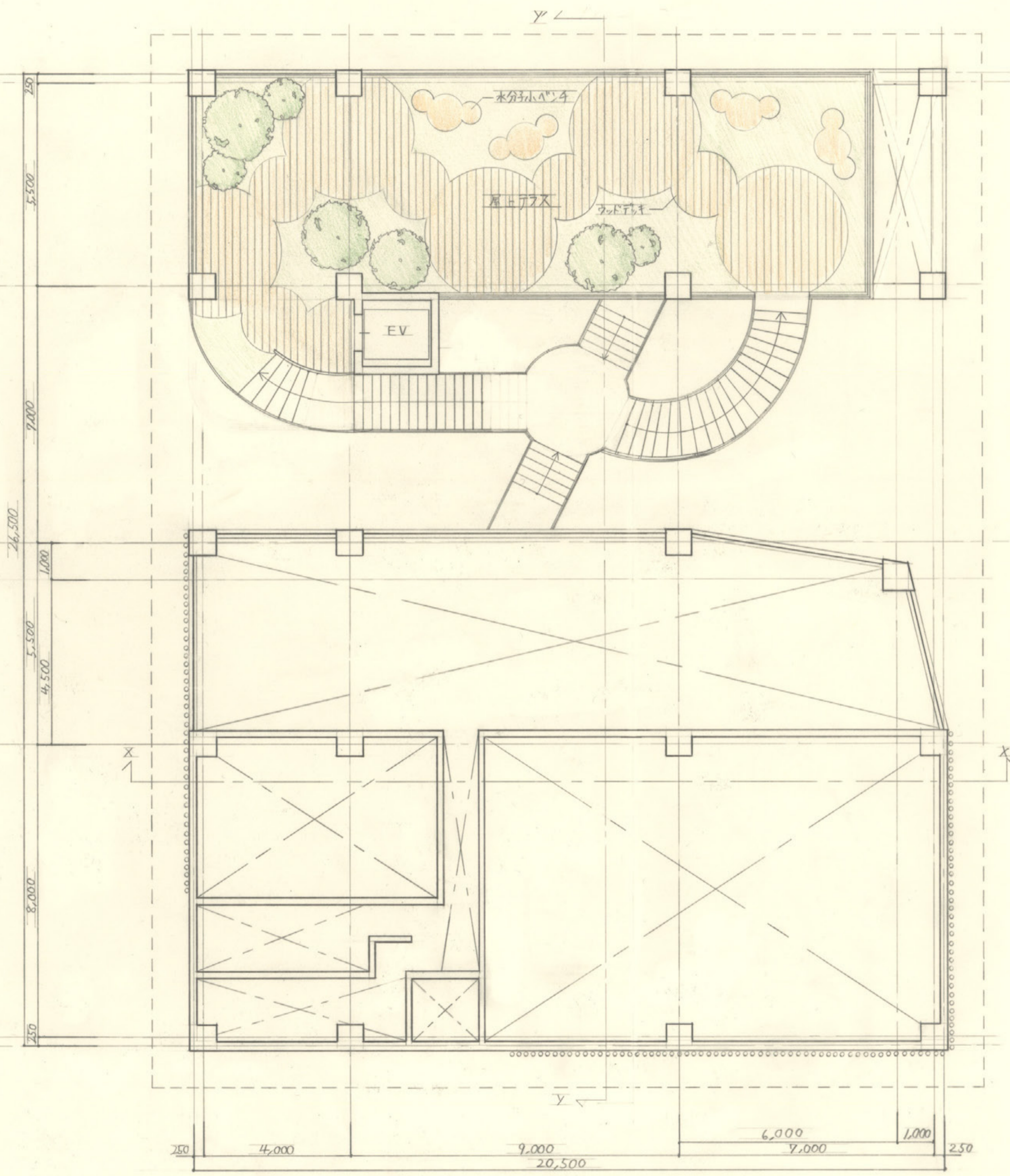
**仕上表**

外部仕上げ			
屋根	ガルバニウム鋼板		
外壁	黒漆喰		
内部仕上げ			
	床	壁	天井
エントランスホール	石畳み	吉野杉 縦張り	吉野杉
カフェ	吉野杉 70-リング	吉野杉 縦張り	吉野杉
多目的ホール	吉野杉 70-リング	吉野杉 横張り	吉野杉
アトリエ	吉野杉 70-リング	吉野手漉き和紙	吉野手漉き和紙

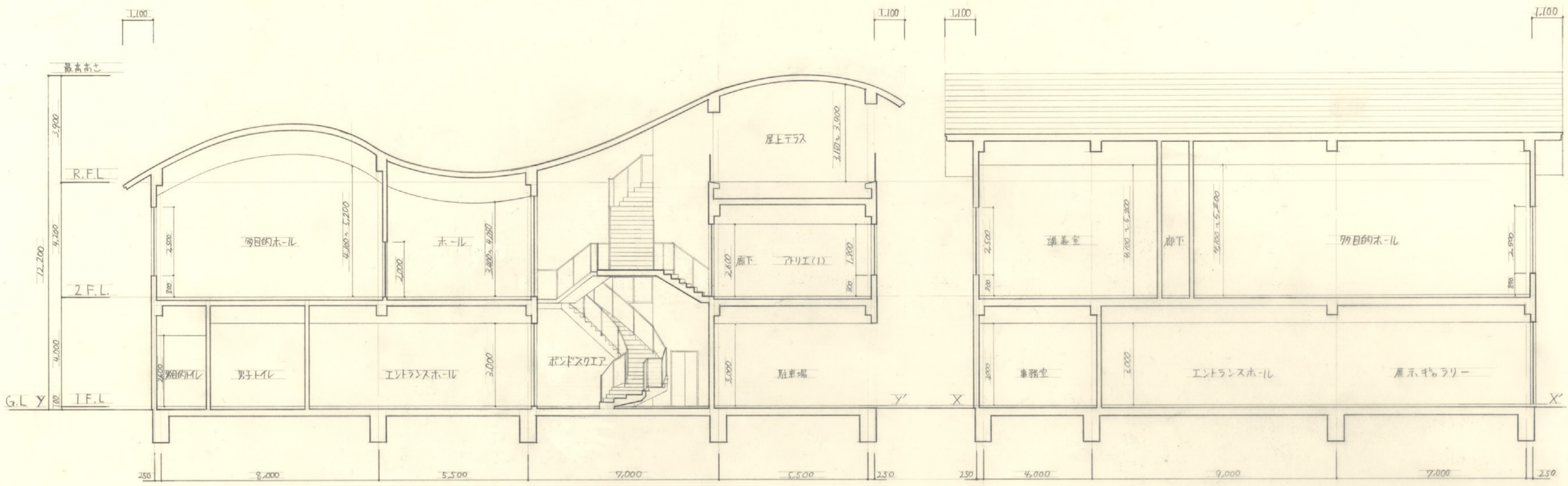
1階平面図兼配置図 S=1/100



2階平面図 S=1/100



屋上平面図 S=1/100



Y-Y断面図 S=1/100

X-X断面図 S=1/100



模型前面写真



道路から見た模型



ボンドスクエアから見た階段



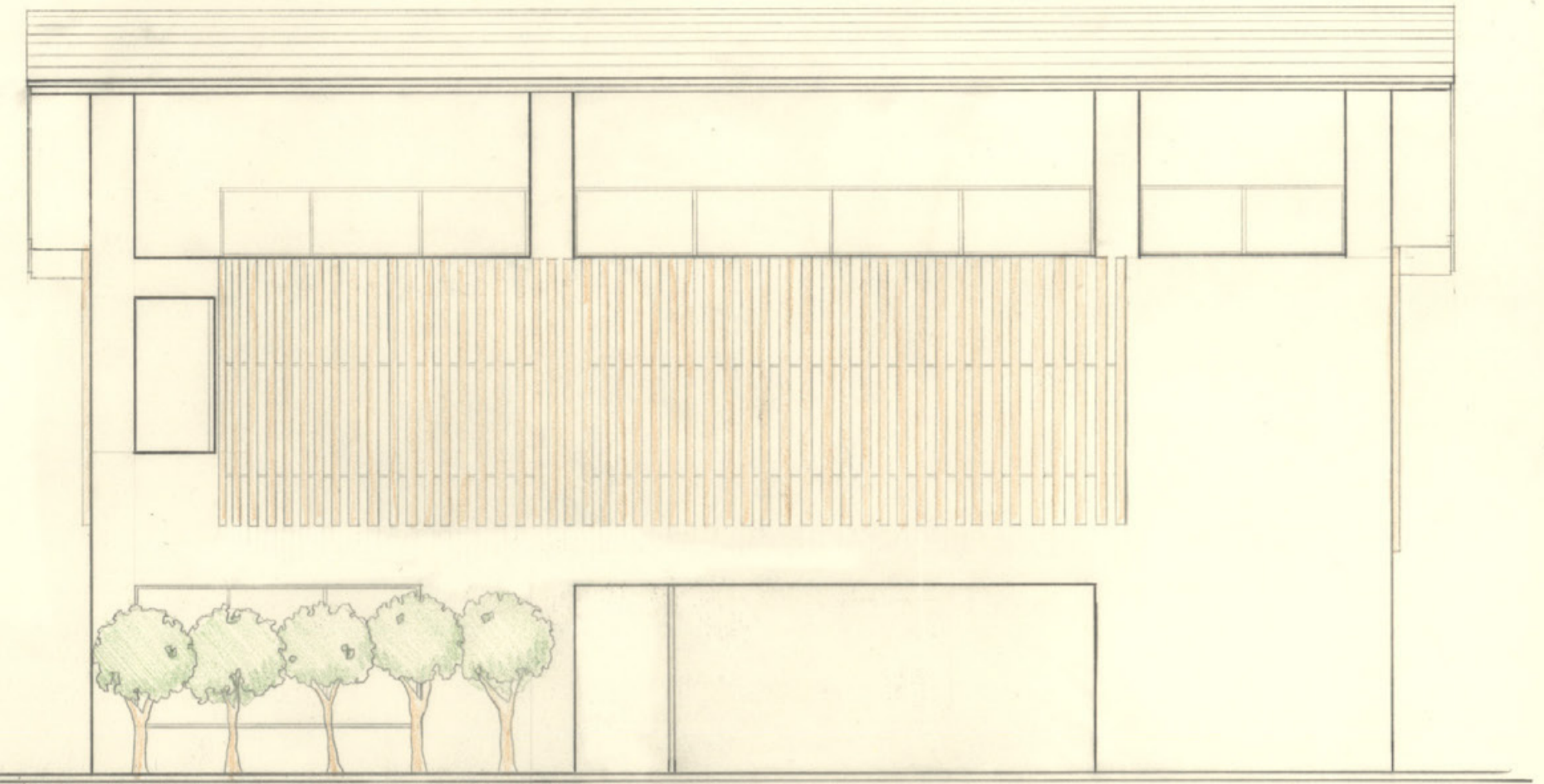
水分子大パシチ



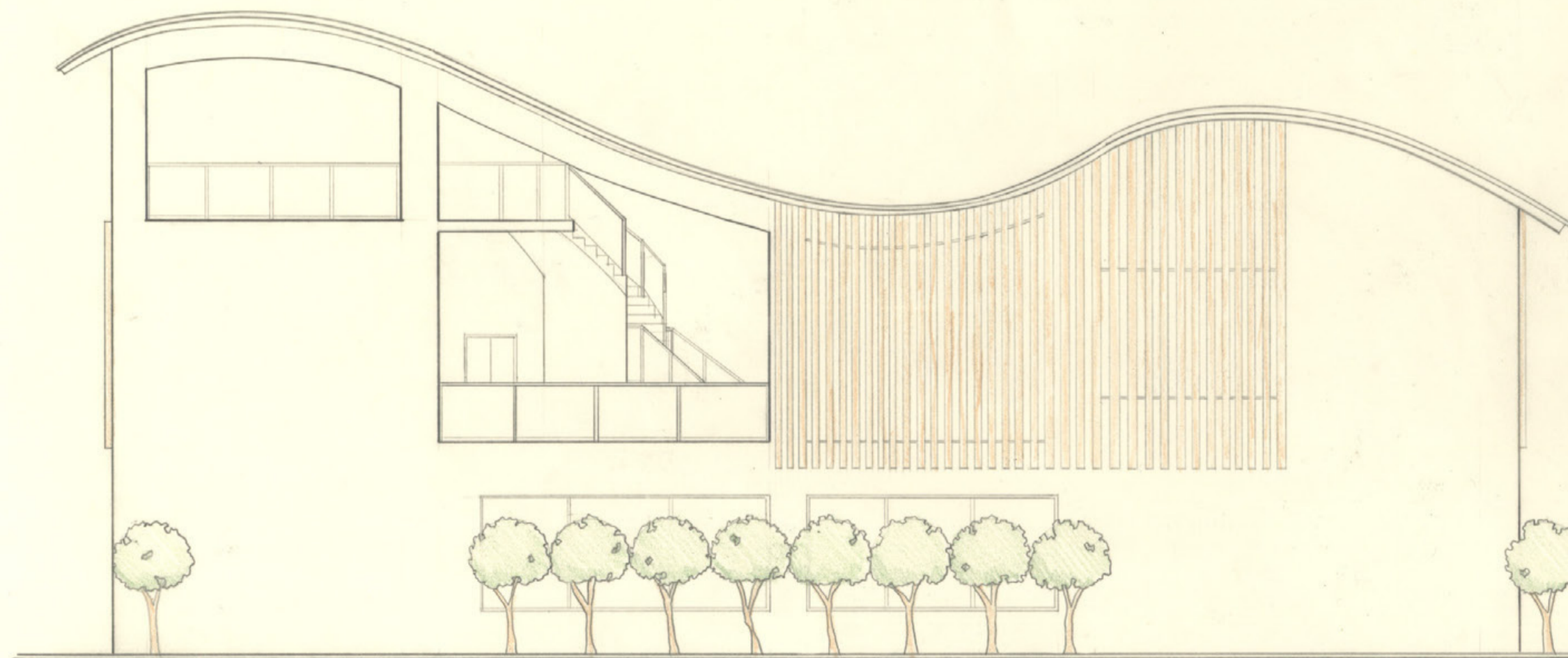
屋上テラス



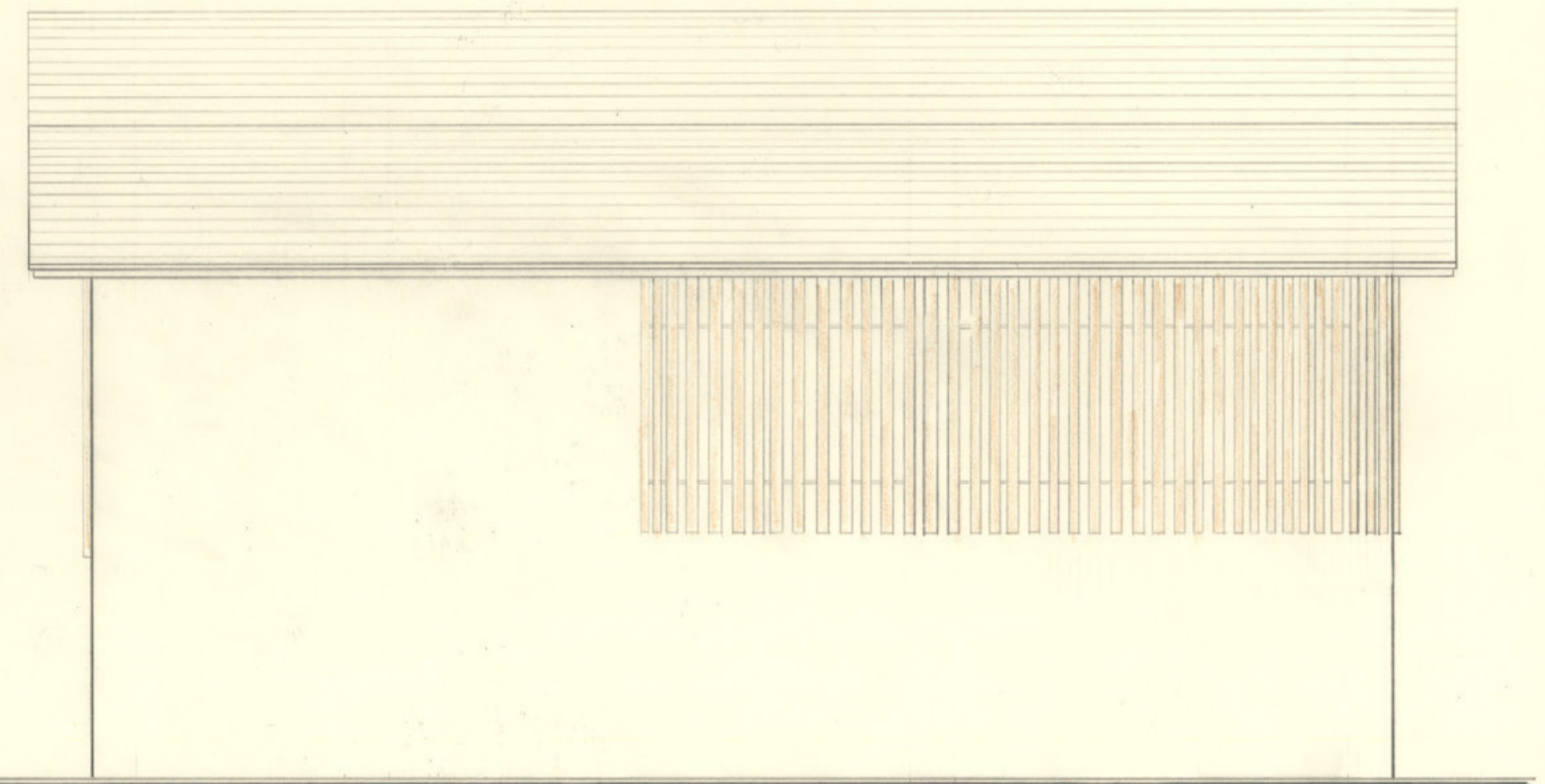
東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



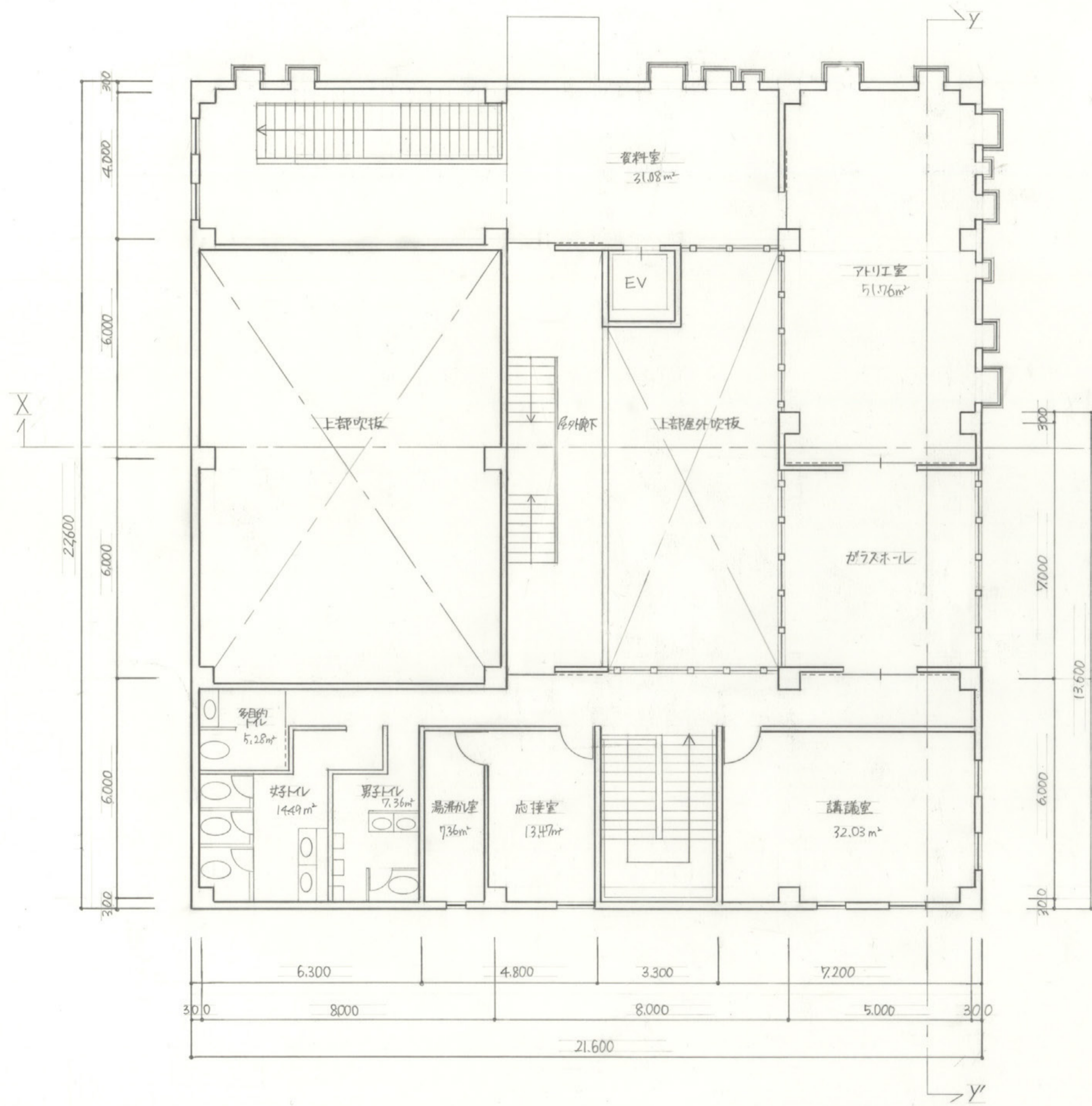
西側立面図 S=1/100



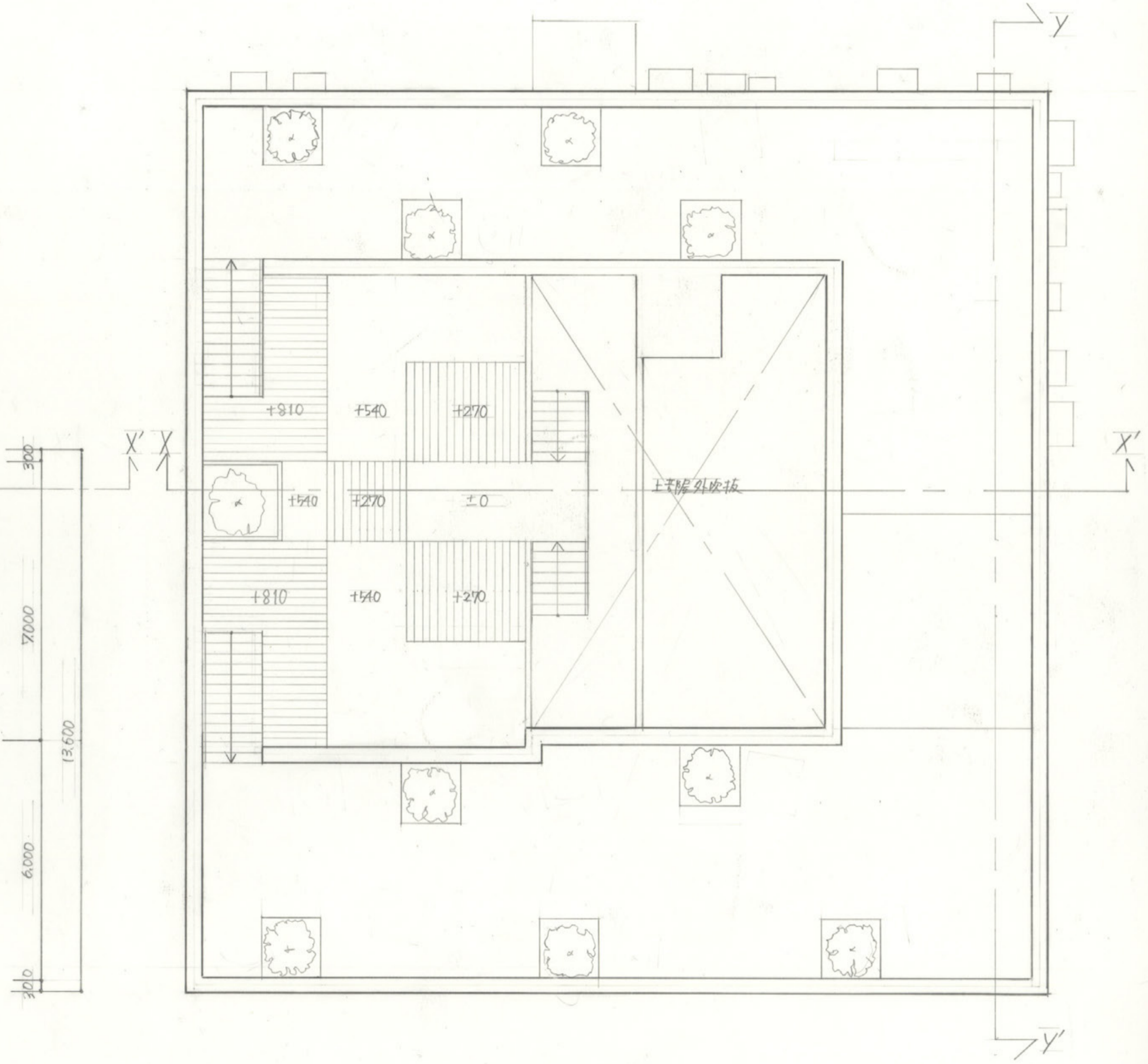
南側立面図 S=1/100



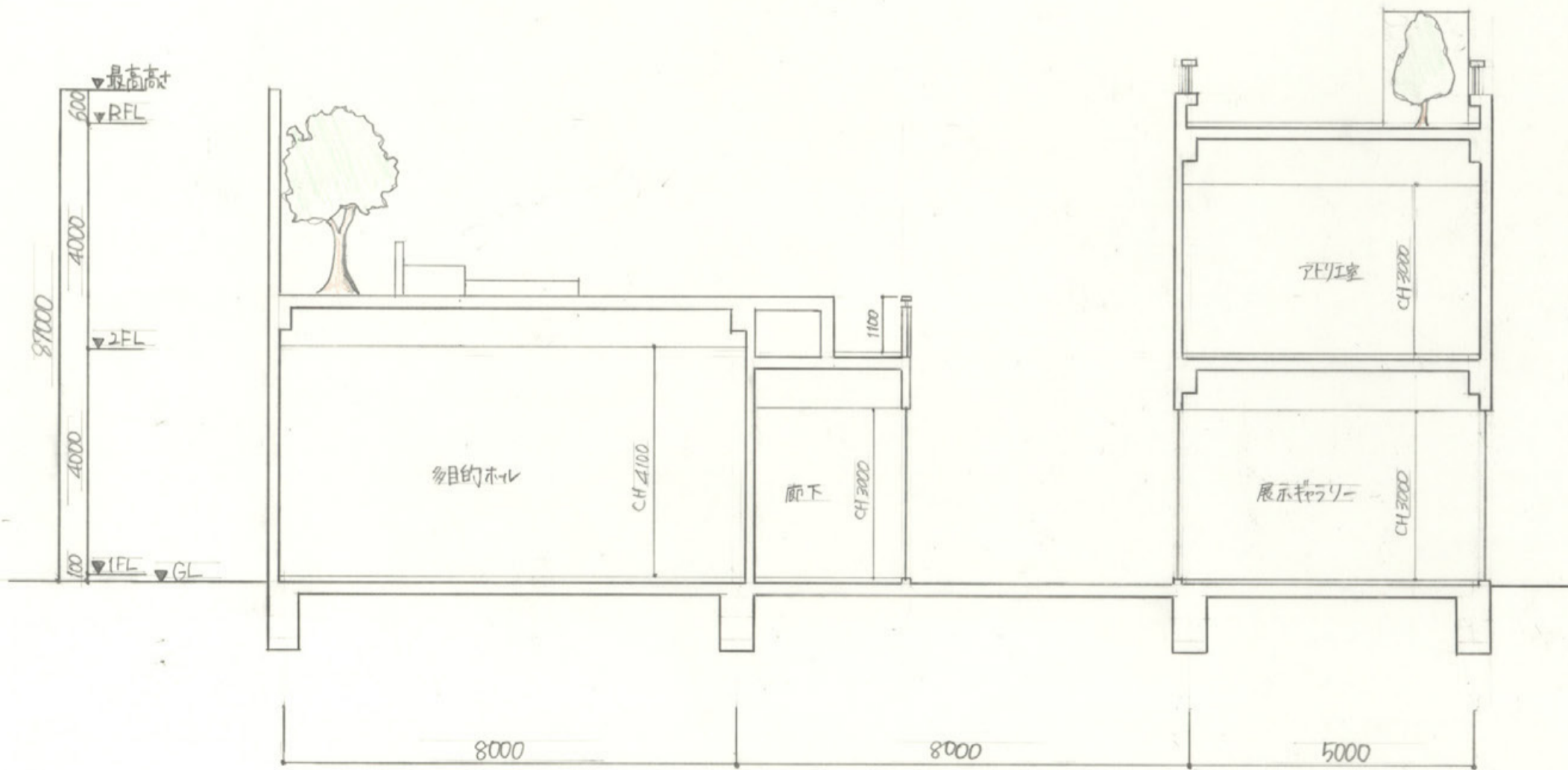




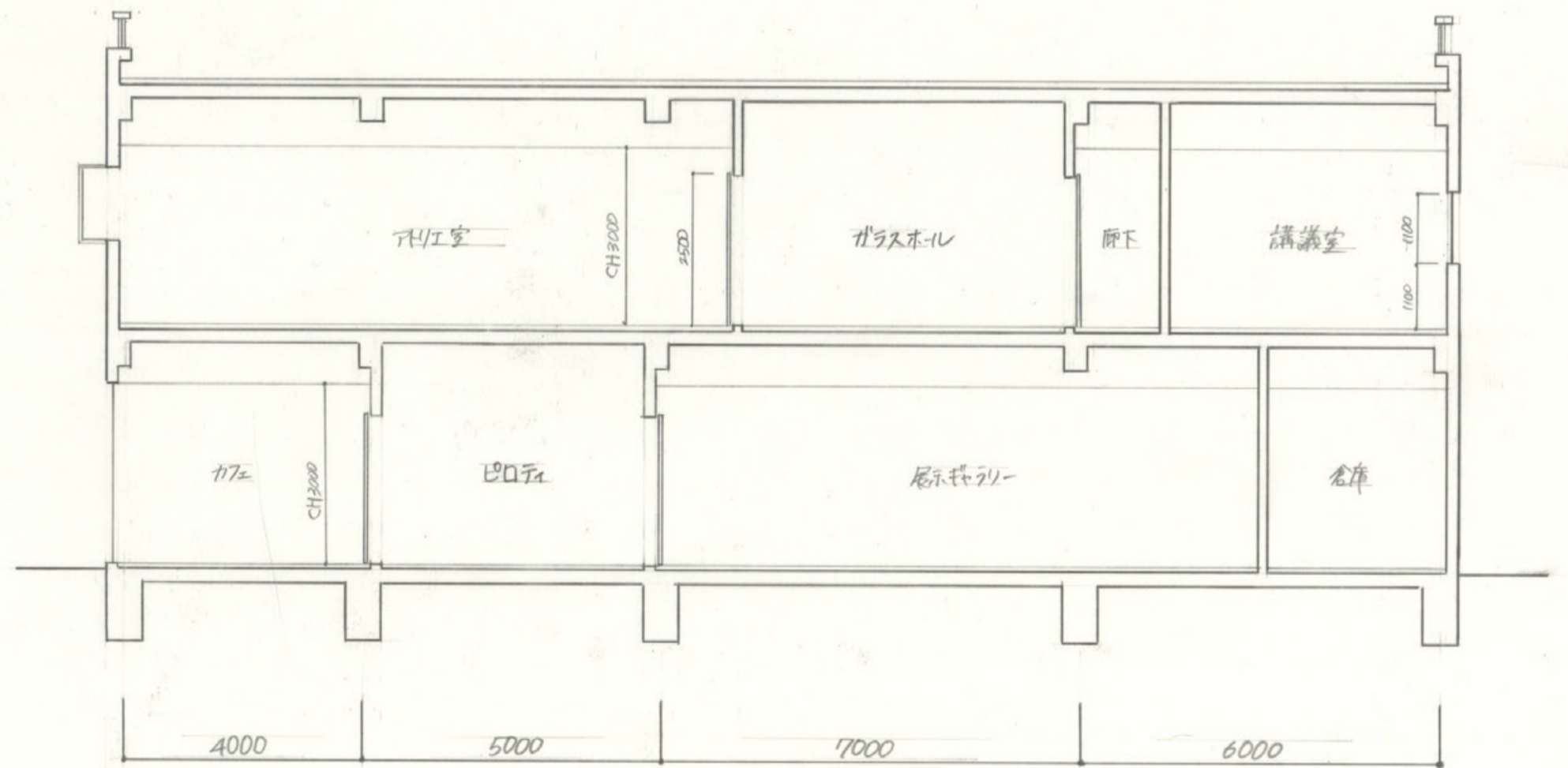
2階平面図兼配置図 S=1/100



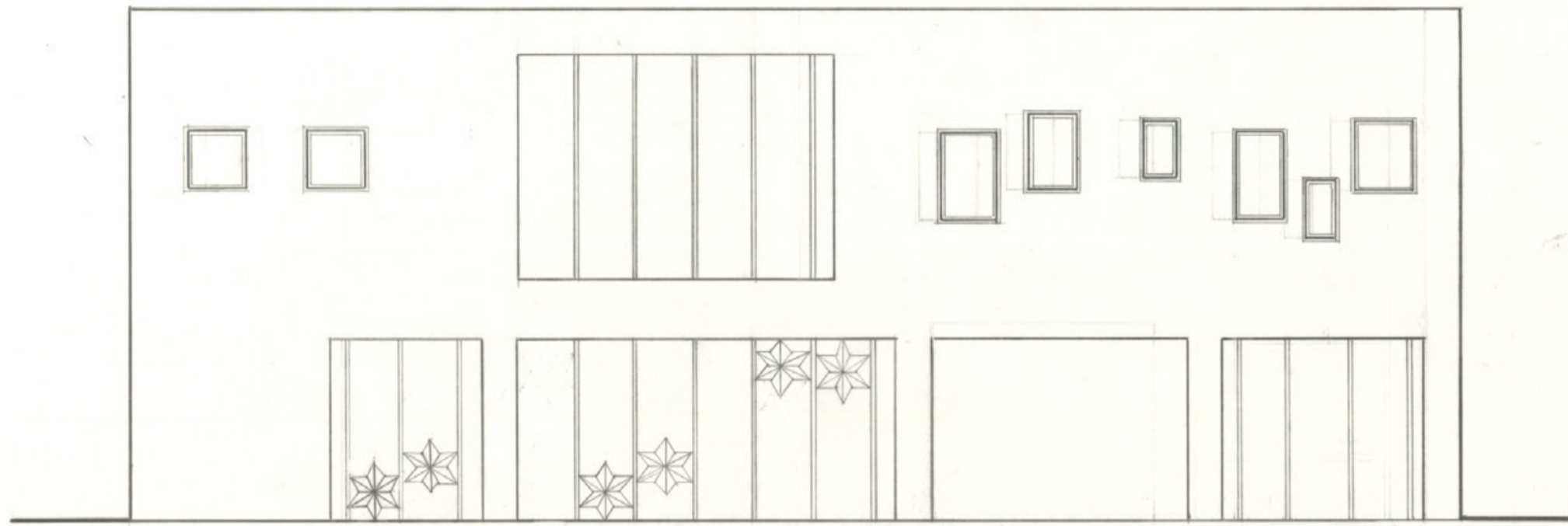
屋上平面図兼配置図 S=1/100



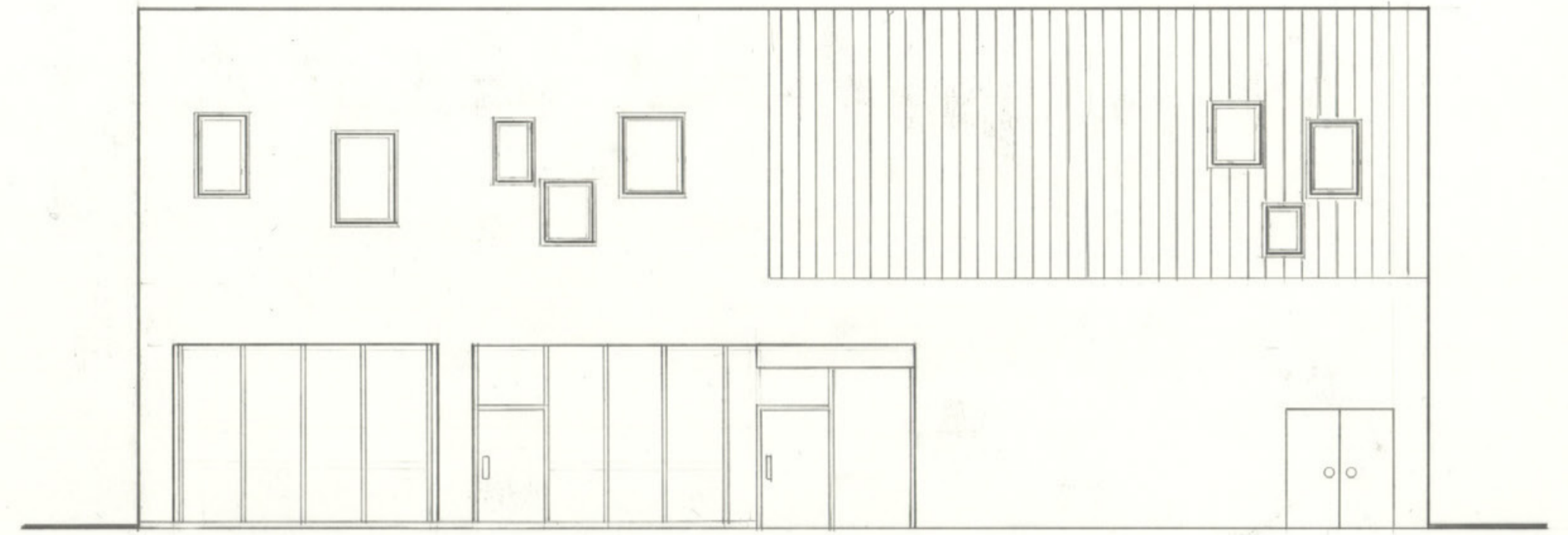
X-X' 断面図 S=1/100



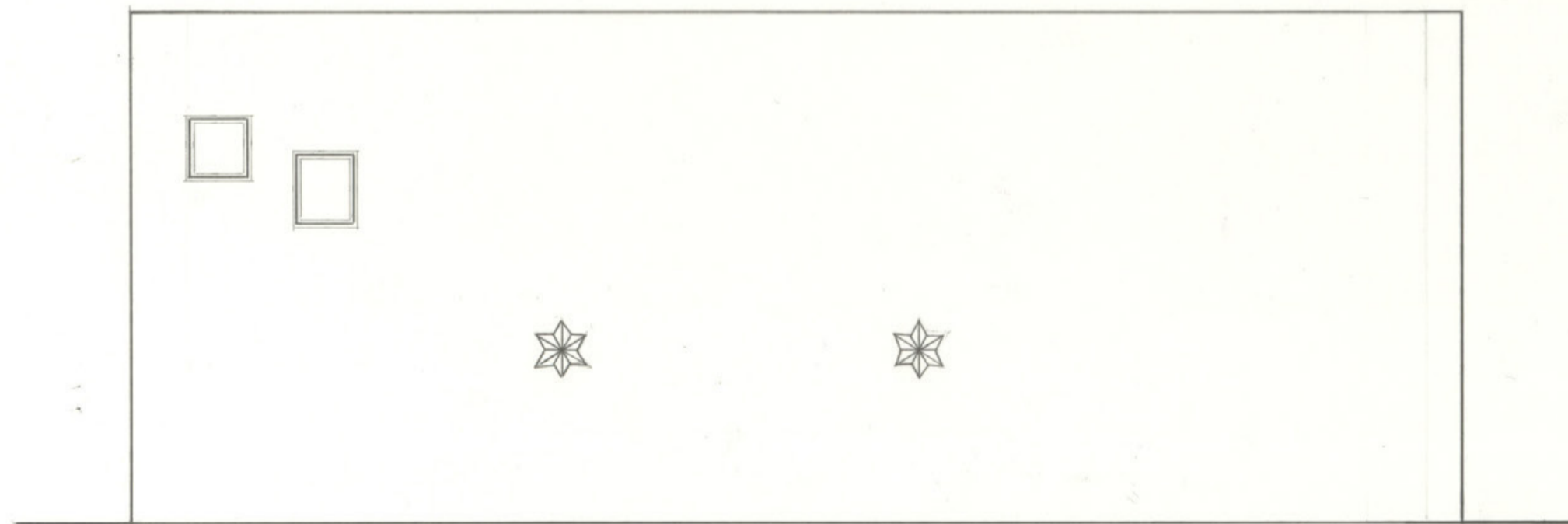
Y-Y' 断面図 S=1/100



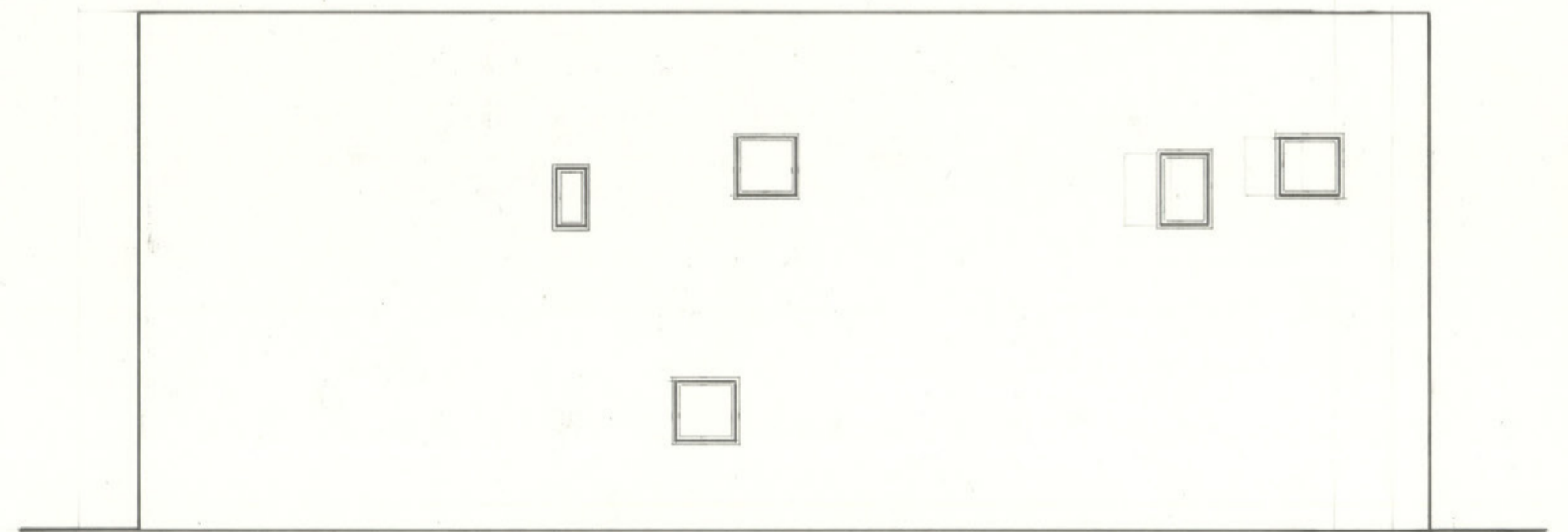
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100

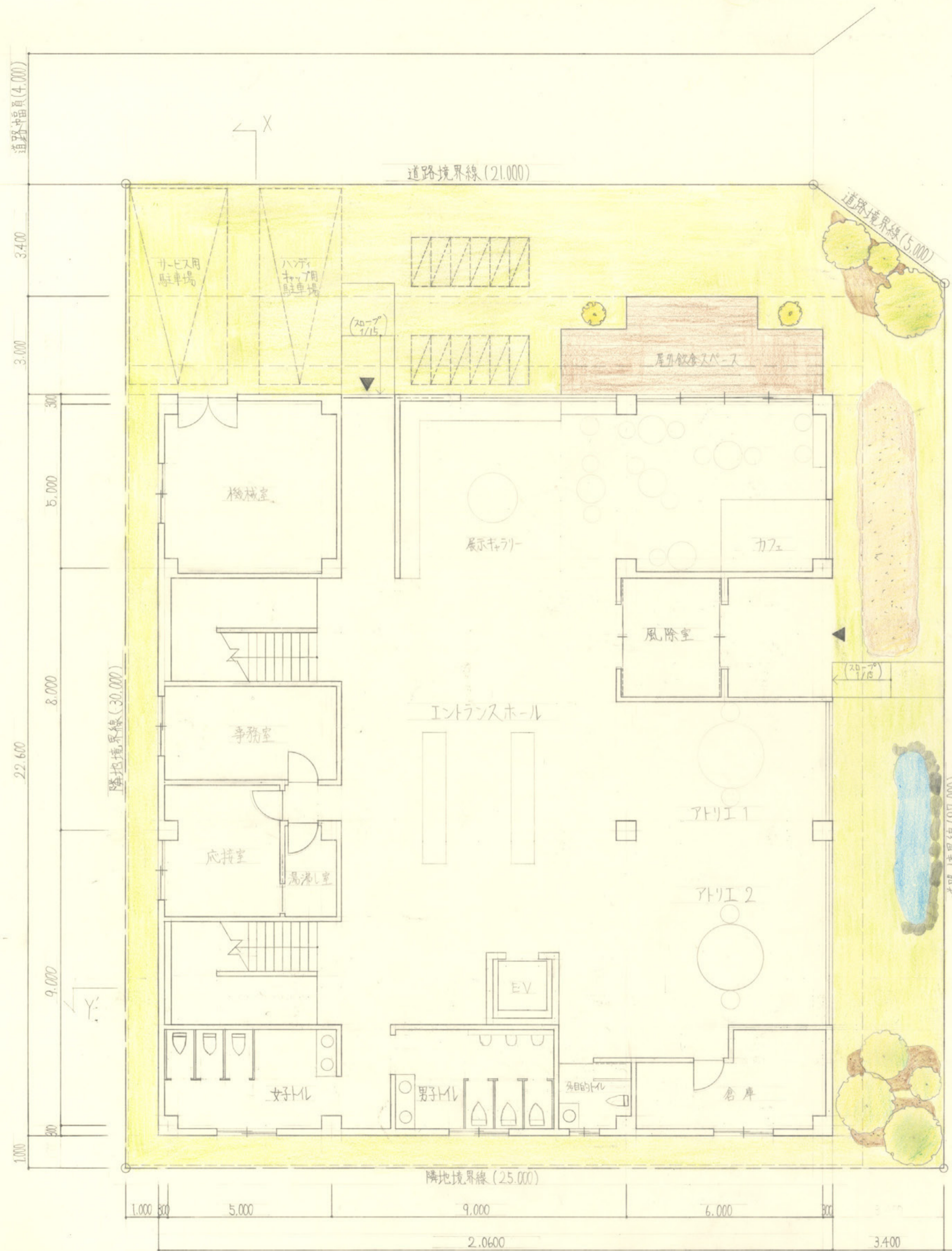


西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

# 米×KURA



1階平面図兼配置図 (S=1/100)

## コンセプト

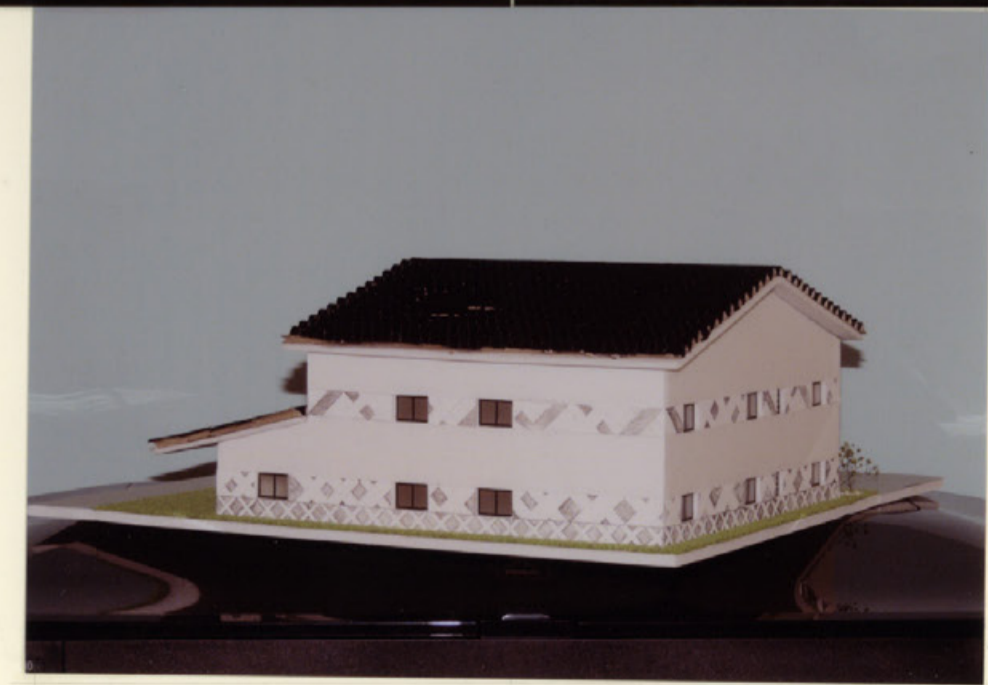
奈良の豊かな自然が生み出した「ひかり」をテーマにした文化学習体験型複合施設。外観は、米蔵をイメージした形になっており、周りよりも目立ち興味が湧くようにした。特徴としては、一階が大きく二階が小さい造りになっており、そこに大きな屋根をかけることで迫力と大きな存在感を出した。また、蔵の形は外国人が興味を持つだけでなく、日本人でも最近の建物ではあまり見ない形のため目を引くことができる。内観は、和と洋が混ざったような雰囲気を持ち、堅苦しさのないイメージにするため仕切りをなるべく無くし空間を広く見せるようにした。また、広々とした空間にすることで人が行き来しやすく、自然と人が集まるような空間になるようにした。体験としては「ひかり」を使った料理とわらを使った工作の二つとし、展示ゾーンでは実際に米を作るのに使う小道具も展示する。また、公共建築ということもありカフェでは「ひかり」の他に地域で採れた野菜を販売し、地域の人々も足を運ぶがやすいようにすることで、地域とのつながりも、かりと設けた。

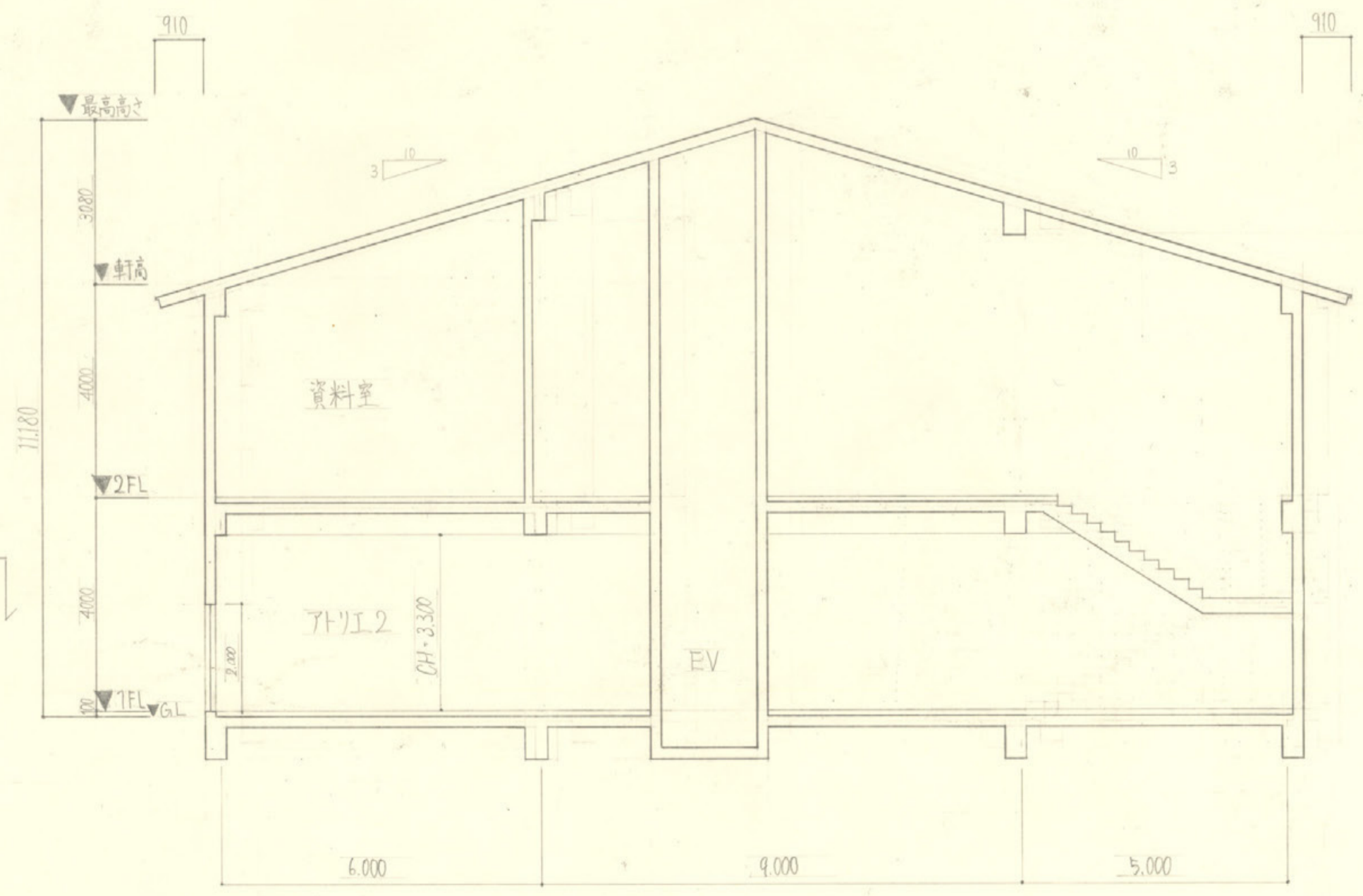
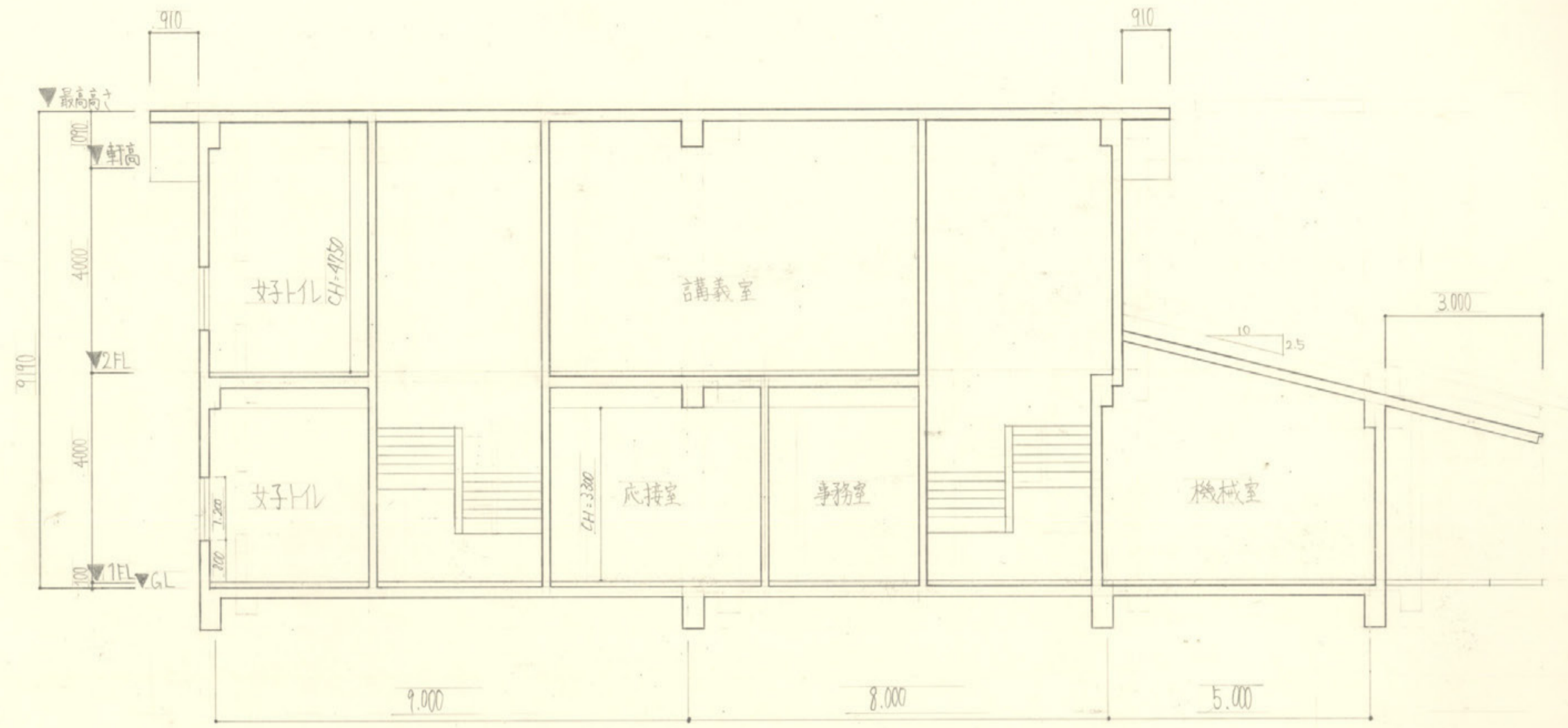
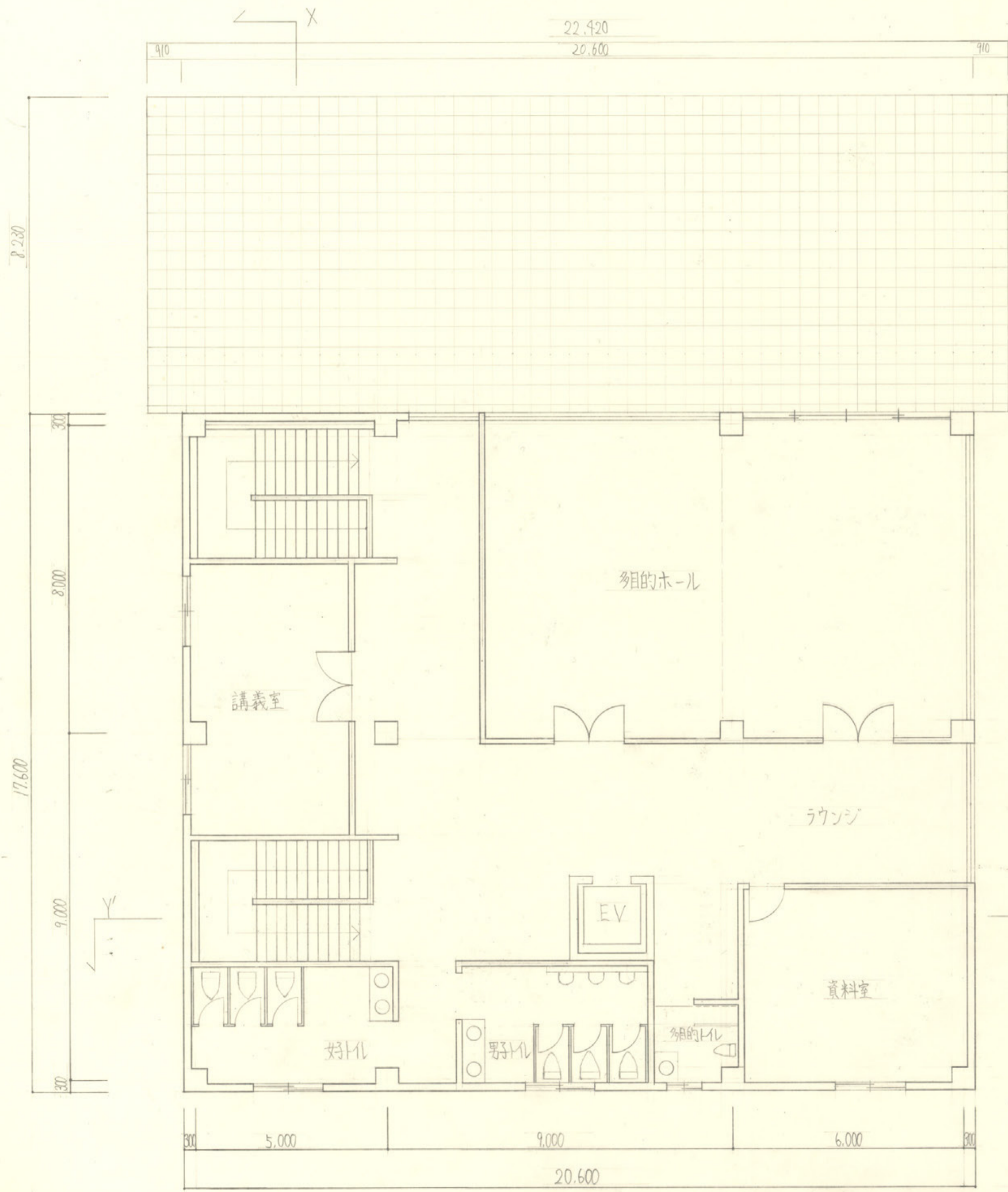
## 面積表

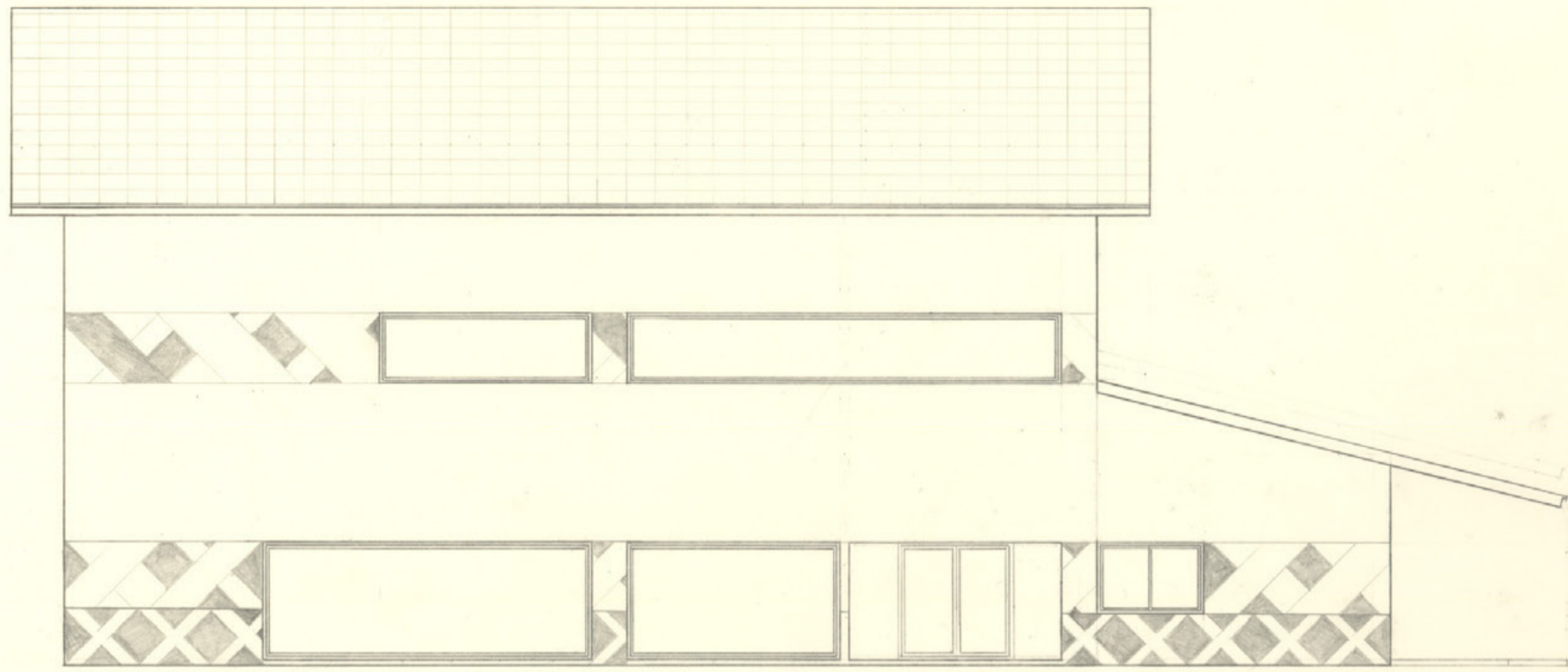
1階	441.56㎡
2階	362.56㎡
延床面積	804.12㎡
建築面積	453.56㎡
敷地面積	744㎡

## 仕上げ表

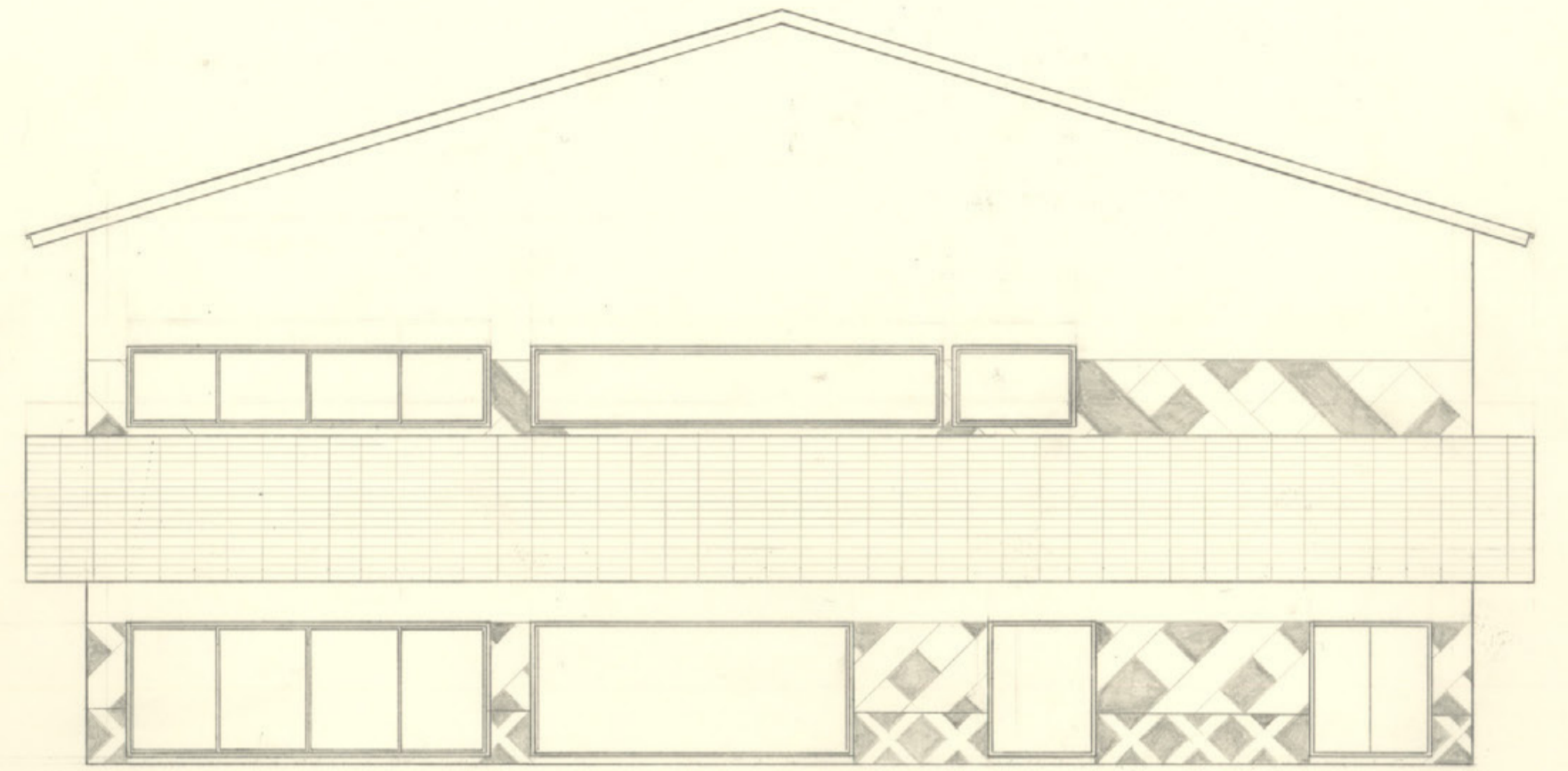
外部	壁: 漆喰(白)
	平瓦
	床: ウォルデン
内部	屋根: 瓦
	1階 床: エキフロリング
	壁: 漆喰(白)
	天井: 無垢材
2階	床: エキフロリング
	壁: 漆喰(白)
	天井: 無垢



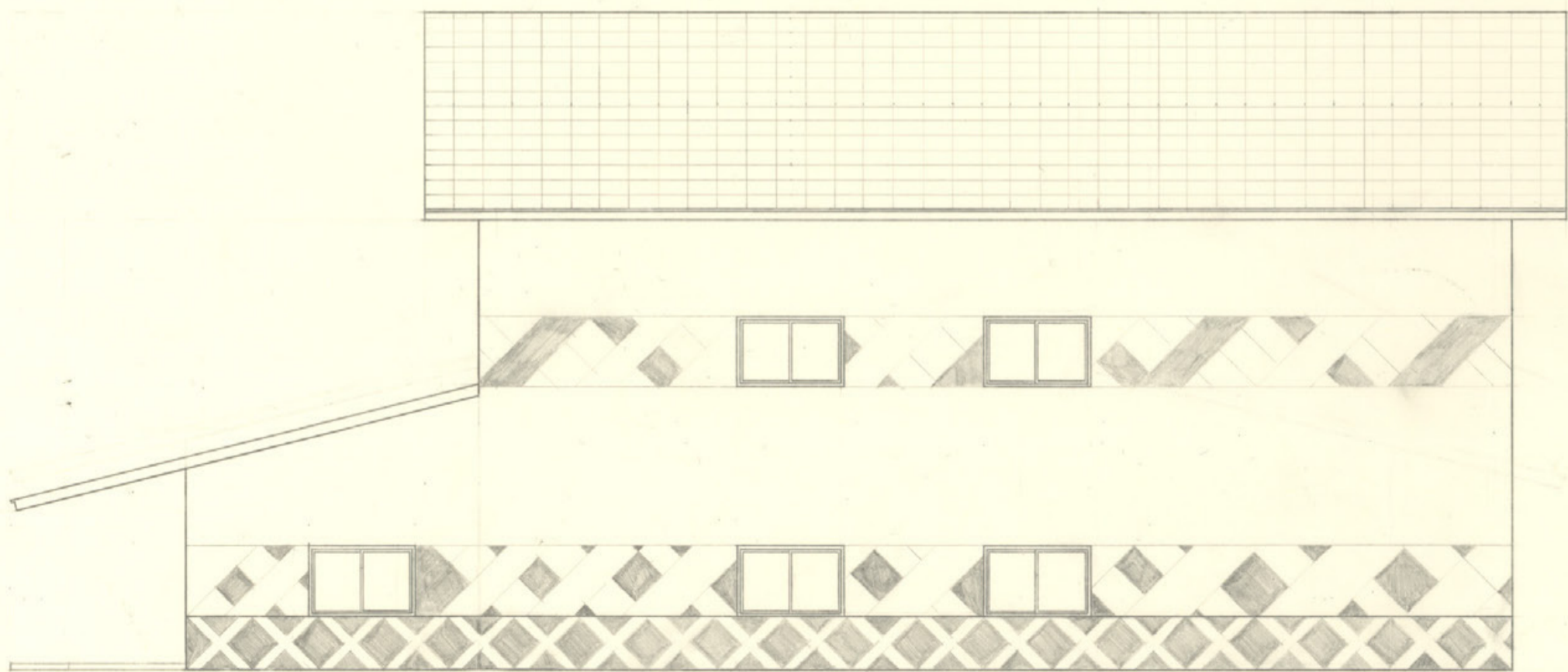




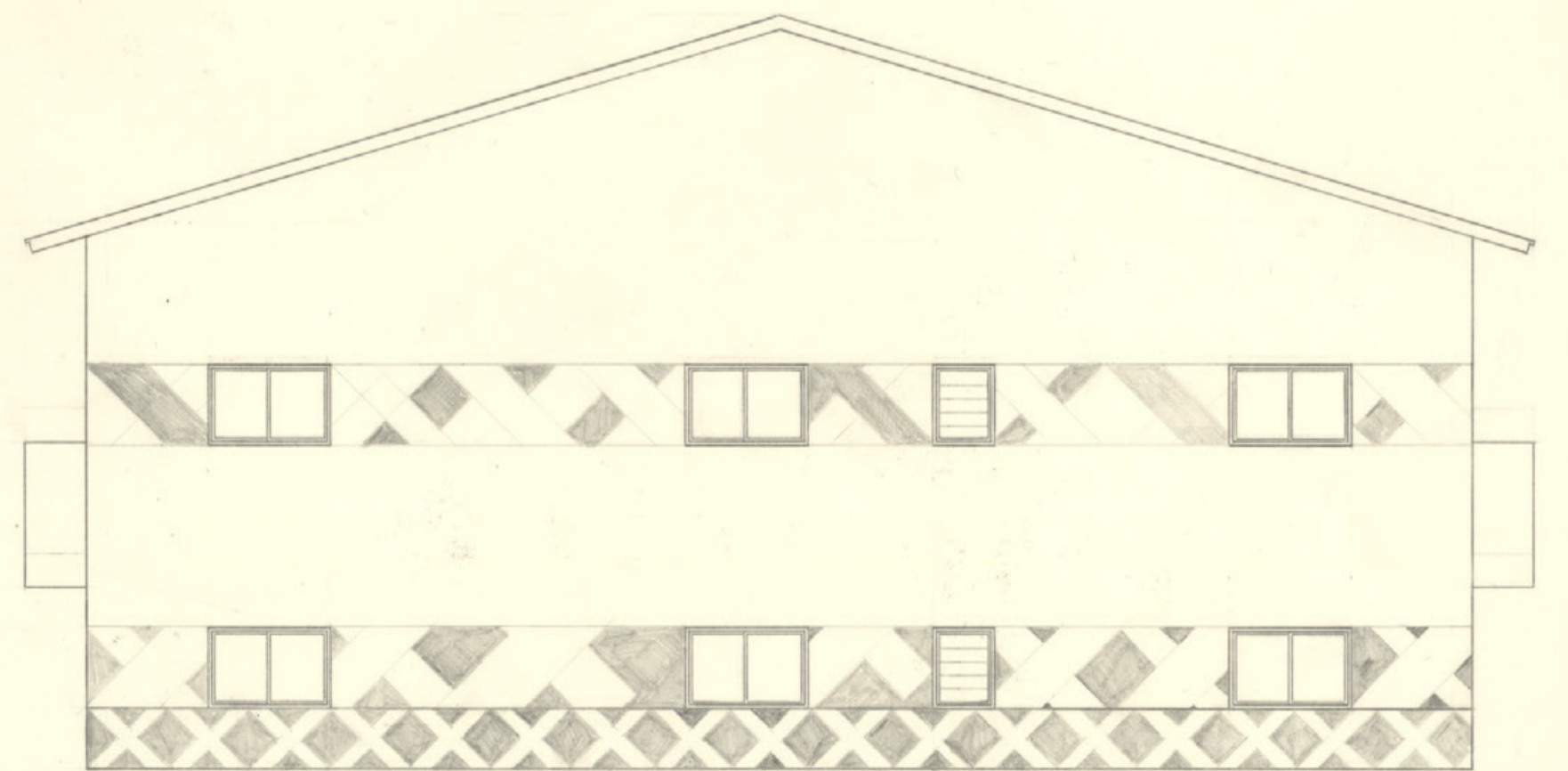
東立面図 (S=1/100)



北立面図 (S=1/100)



西立面図 (S=1/100)



南立面図 (S=1/100)